御仕置例類集 弐 拾七

和書門 類
二一九 號
九 函
三 架
八五 冊

内閣文庫
和書 類
二一九 號
八五 冊
一八一 函
一三 架

内閣文庫		
番號	和	219
冊數	85 (51)	
函號	181	52

国立公文書館
National Archives of Japan

御仕置例類集

弐ノ
拾
巳

御仕置例類集　盗賊取扱　弐

拾七

溜仕置例類集 拾八之帳目録

溜預帳受取扱之部

一 溜預より欠落致候類

一 溜預より出候世話いたし又ハ妻帰

一 老人或ハ存命揉合之類

一 溜物ニ不存候ニ付相願

溜物ニ不存貸金ニ致候貸

一 代銀之内採候ニ付願

溜物ニ付相存候ニ付願

文化元子年御渡

長崎奉行伺

元長崎本大工町安南屋勝益と申者

一件

長崎今紺屋町

市郎治

一 右之者儀安南屋勝紀事渡海之

一 此節夜鋳及下来拾六万之迄ニ而吹立候
内武州御手ニ而鋳立之銭相成候　諸国之内ニ
壱挊通用銭四百五拾六文ニいたし候　壱拾
御座候ニ付右諸国ニ而も　不挊
此儀去ル戌年銭ニ而下ケ置候ニ付大坂内
若之者大坂出役ニ而銭之有之候ニ付合
納所之人組相渡古壱分文以後御沙汰之
御座候ニ付買入ニ而銭悪敷ニも可有之

ところ此度利徳有之候ニ付同商売之者共
其筋ニおゐて買入候而ハ右銭之相場
買入壱挊　文字有之世上壱枚之弐朱新銭
いたし候得共御座候新銭ニ而弐朱有之世
壱文いたし候而ハ代金銀ニ而壱文ニ
通用いたし候とも有之新挊ニ付内銭
ニ付不相成いたし候ハ御手ニ而有之世ニ貫
一 いたし候ハ御手ニ而代金銀を以壱文ニ通用

一　ニ付ても我上ニ不及不埒ニ付上
ニ而ハ御所江例ニ合使用済候
不及不埒

評儀ニ不及候

文化元子年四月
大坂町奉行伺
一　松平日向守百姓中間死失仕候ニ付差出ニ
一件

摂津国十三番住居
播州西成郡今宮村
本住之儀信
今宮
佐七

一 右之者共儀死亡住居仕業ニ而渡世いたし
御城用之銅地ニ而候とも不残相渡候ニ付銅
古銅之分銅合所々売買いたし候分ニ而
仲ヶ間定法相背候ニ付相届銅吹屋ニ而
出来候銅買集徒用ニ相成候ニ付相届
不届ニ付法式之通急度差控被
仰付候ニ付年番池田筑後守町奉行勤役
之節同人江御仕置申付候浅草町組丁目

一 源之丞店小兵衛同人店仁兵衛助儀
銅細工之者共不残銀之者返却ニ付来り店
銅器銅物之内江入込銅屋共儀致渡世兼
徒用之事ニ相成出来不申ニ付差支ニ付
書付を以而相届買入候ニ付書付古銅
渡世人被相成共ニ而遠慮致候ニ付可
中々其外渡世之者共江申合致申付候例之
右合 御城用之銅売上申付候ニ付不残

一 出来形之分村方使用ニ拘り買入候
例ニ付、仕来之通り出来候義ニ付
以御買上ニ被成下候様上納仕度

評議之通

文化二丑年四月
日光奉行伺
一 野州七里村乙八御用紙入念漉立ニ付
一件

日光御領
野州都賀郡七里村
百姓
武之助

一 右ハ去ル戌朝鮮種人参之儀ニ付去ル
巳年江戸ニおゐて願之通乙八拾本之人参を
懸物ニ而御入用ニ付買上壱掛ニ而使用
致候處武百九拾根余ニ金武分宛
売出被下候ニ付下掛

一 此儀壱掛ニ而使用致候處懸物を
御入用人参ニ付金武分使用致候成
右ニ付懸物を以下候下直ニ買上候之下掛

之御定之通合何之無下掛
許候之無滞

同 江戸
同 新今市右
石川左衛門親
六之隠

一 右ハ去ル戌朝鮮種人参之儀ニ付並

一 御願之趣ニ付乙八於新家之人参を以可致
既ニ先例有之候而其上之流之寛々而婚業
不仕候ニ付不埒
此儀前書武之情ニ相伺候得共不埒

評議之無之候

文化四卯年 御渡

駿府町奉行伺

一 駿府浅間社人矢宮将小黒相模御神事
遣候之上ニ而一件

駿府浅間神主
惣社宮司社家
駿州河辺郡
宮中村
名主組頭方
勇次

一 右之外之儀小児抔ニ而も盗いたし候
御仕置之儀ハ当人之申分不立候ハゝ必定盗物
ニ可成品ニ而も盗物ニ紛敷品ニ候ハゝ
利徳ニも可有之候 右之儀ニ付候而ハ過料
寛文之御触有之候ハゝ其科之軽重ニ随ひ

一 盗之様ニ而も掛ケ候後押領同前之類
御仕置之儀ハ川裂辻堂ニ而も其尤ハ辻堂ヲ焼
ニても別様ニ而も初年ニても其の手

右寛文之儀ハ承り候 政事之内合せ
吟味之上命を除き候ハゝ遠島可申付
死罪
付候寛政元酉年 評儀之上ニ而
長谷川平蔵大御番頭附盗賊改之節 申渡候
下總國小方村百姓吉次郎盗賊之科
候者ニ而も不届ニ付其上ニ而売
一 掛文ニ懸金鑚入ニ而申候

一 不孝不行跡いたし候ものを不構ニて
差置候上盗致候ハヽ存候者迄ハ貰
請候得共いたし候とも知候様ニ貰人并
等ニ致候年来此者ニ立候のも
死罪と有之 御定ニも尤合年来候
来候得共ニ不行届ニ候筈ニ候得共
知人ニ而も有之候ものハ 相当ニ而家財ニ而
盗物とも同様合羽等いたし遣候而も

一 貰受候而も盗賊を知候而理隠置
候者盗賊ニ同類とも同様ニ捕別ニ候
者迄候而死罪とも申之候得共
其例ニ見合寛々候候
御仕置ニ有之候とも差入同様ニ取計
死罪難遁ものに付御取計候
下御覧被成候
御仕置ニ可相成候 御書付

様可有之儀ニ候
其儀を不思召分不宜候ニ付而
いしゝも被遣候処、掛り本〆罷り
候ハ寛政三亥年牧野備前守寺社
奉行之節、伺之上改住無之候上州
足門村住吉寺当寺風説ニ付住吉寺
先住無罷申候、譲受候而当住良範
致入院候へ共、事済ニ成候而差遣候

奉良範へ雖成候、其上牧野御奉行
之儀ニ付、切裂ニ而相済し
其儀を不思召分住職不被仰付候様ニ様つし
例ニ相成候へ共、様子

許[illegible]之無[illegible]

一 [illegible]

文化八未年四月
北御番所
掛り大岡

一 家主吉兵衛初手盗いたし候件

深川佐賀町
六左衛門店茶屋
吉兵衛店住
七兵衛

右七兵衛儀実ニ於兄茶吉兵衛盗之儀
茶者之紙を隠し候所病いたし候同人儀申合
同人出前ニ而見出し候而其も而即ち惣右衛門
茶実を見世茶実を而持いたし居候所
他之者紙実を以而茶寺いたし而茶を剥
之渡方吉兵衛江相返し代金相渡いたし候
吉兵衛儀いたし候右茶之内ニ而右衛門
よりも茶相渡し文見世茶実いたし候段又ハ

一飛脚屋共預り荷物等紛失之節ハ
中候ニ付 右荷物代金之内多分内済ニ致候
以後不埒之事ニ付 以来ハ
諸荷物大小ニ不寄 一旦宿屋江預ケ候ハヽ 荷
物主方江 同人ニ不残 請取可
申上 以後荷主之 其荷物ニ付
紛失之節 并 御願申上候
七月 宿屋 飛脚 宿方 紛失之節

紛失之節 右遣し 国々之問屋江
者共 引合之上 宿屋方紛失荷
之儀ニ付 諸事相談致し 内済ニ事済
難致候ハヽ 松浦様江 申出 請取可
御奉行所江 訴出 右紛失品 遂吟味
中候得者 吟味之上 弁金申付候
右之趣 相心得 不埒無之様 宿屋江
以後 代金 飛脚 人方 相渡

在所ニ而ハ如何ニも存候文 御勝方より
見當りニ而茶不正義ニ有之候儀ニ候ハゝ
少しも不残壹掛ケ候ものニ相成候ハゝ定書之
通相心得可有之下ケ来之實ニ而も有之候所掛之
有之候得共 右之通相心得 下ケ来之實
ニ相成候此等のことを勘弁いたし利銀之文を
下ケ来之實ニ相成候ニ付急度相心得可申候 不
之何月一旦差上候而も相続いたし候 不申候様人

し懸毛一厨ひニ成候ニ付不相叶儀ニ候ハゝ急度
申上候 通り下ケ来之實ニ相成候ものゝ御内々
相立候ハゝ御法度御座候而不苦候 右御定之
趣を以而掛

得度ゝ無滞

文化十酉年渡
町年寄
樽屋藤左衛門

一南新堀壱丁目ニ而砂糖船積之節抜荷ニ
一件

南小田原町壱丁目
孫兵衛店
市兵衛
外弐人

右之もの共儀砂糖問合物商仕抜荷致候
者之由尤砂糖船積物商仕来之積
之内分大金之外積荷抜取可申掛
買請候者ニ付中ニ而同意之者有之石積船ニ
積込卸売買請売払売仕候又者
同人共其外ニ而買請且又問屋仲間ニ而藤右衛門
を相頼ニ及出奔仕候ニ付森右衛門中ニ而仕舞
金子前田同人ニ而吟味同所中住居

一 右願之件今度奉願上候
此段無拠御願申上候　同様ハ当座候而
依之蒸各奉願候　割合並ニ　掛り候
相渡候買入高買上之米　右用　又ハ壱ヶ月
値段之儀当座之　商仕　利潤ニ而
直段之儀相当ニ　買入之上ニ而
被成遣候様　渡方買之義奉願上候
有之　御定之割合　御免之　入置上

殿

評儀之上
但
御沙汰之上御払可被成候
御免

當地ニ而存世話いたし又ハ
賣掛ケ之義ハ右同様ニ而願

享和三亥年覚
大御番盗賊改
大河内若之助組
一 常法之介平蔵盗賊ニいたし候一件
大河内之介
彦太郎
右之もの儀平之助相尋候而不念盗賊ニ付

一 有之候ハヽ何方ニ而も右之酒食ニ付
一致ニ而も右之通り遊興之又ハ賣掛貰
ひ石代滞り候ハヽ酒食之ニ付捨ニ而
右体之ニ付致し上様返放
一 此段去ル未年添田渡世之所より勤
候ニ付御上より仕出之ニ付石中
蔵相手ニ而茶碗等ニ而町役人之借店
大坂府ニ右同人相果加度不審候

盤七と唱候ハヽ不知之者之ニ付ニ而も
今宵是ニ而不埒之段ニハ候ハヽ付添
右族ニ而世話借之文借ニ而も
使用ニ而も有之候ニ而通
取締之上盤七ニ而相済候ハヽ折女等倍
以て右之者ニ而世話ニ付對談ニ而
且同人方ニ而古金受取世話ニ相成ニ付
速ニ而今子ニ而も不埒之段ニ存候

前々ハ持参仕　無銘ニ而も有之
節ハ是迄之札金ニ而売渡来
候間以来ハ唯今迄相分り候分之外
無銘成候ハヽ盗人ニ可有之候ニ付
以後も同様之儀有之候ハヽ可致旨
申付候例ニ合候通り致し追放

評議無之

文化元子年ニ済
大坂町奉行伺
一松平日向守在住中間死失ニ付盗賊一件
當付之宿
年十七年
源蔵
右之もの儀死亡ニ付而者壹拂候

未熟之処　御城内ニ而調和之間人迄ニ
以成候而可有之哉と右之衆ニ而又住七日
宣揚ニ付代替之門住用ニ相成候由
不便之事存念ニ無之致之上重取扱
相成候ニ付相成ハ勿論御座候別合
通而宣揚を配分相成候ニ付ニ右ニ而
通置候名存候ニ付道気宣揚
申上又御座之申上配分之ものニ候

御定ニ付雑門尚去ル午年小田切
土佐守殿ニ而上江戸往来中ニ付日光御石宿
松前屋茂兵衛方ニ而泊り夜ニ候勝作
木村喜兵衛手代ニ而蔵人御分夜ニ宿
村調ニ而日光ニ而御座候不ニ申蔵人
其外之者宣揚ニ付候を名主村住用ニ
相ニ候置候宣揚住用之者申候ニ而不便之事
入置之上致申付候例有之ニ付

罷在候所、今般　御城門御橋物
をも[illegible]候ニ付　御普請掛り御徒用
[illegible]改被成候、[illegible]ニ而[illegible]
右例之通ニ合　御受合ニ付[illegible]上納

評議之無之所

文化二丑年御渡
大[illegible]殿
戸川大学頭
一 [illegible]一件

武州埼玉郡
原村
百姓
名主
[illegible]

右之外之絹並物と多分御座候所六拾弐匁
家数之所両替屋服屋共ニ而も不若候
候へ共文字金買掛置候所中々以速ニ従
下拵之買込相済候事共ニ付文字金積銭
代残し代りニ相生文字金儀へ買掛ニ付
為替所ニ而代金相済候内従前より
両替之者共ニ相渡候所へ相付候金子
御座候上江戸掛

此儀去ル戌年小田切土佐守様御役之節
御仕置ニ付麻布桜田町ニ而呉服店
紙屋源兵衛儀七ヶ所持来候所掛
相続候者右形之家数ニ而所々備有之
之多分ニ而並物多く御座候所従前より
源之買込文字金買掛代金残し候内
金之儀弐朱残シ貫九百弐拾文づつ従前
以下之拾家数九ヶ所金之儀

武家方ニて支配之者 婚家方庄有
へ差遣し上ハ江戸構ニ及候例ニ見合
伺之通庄屋今之通可相成者へ差遣し上ハ江戸構

評議之通

文化二丑年相談
当府道蔵役
戸門太夫伺
一 女房熊八ハ初手盗いたし候一件
川越公府
御用所
右之者の儀熊八ニ出会ニ而御同人後家子

不埒いたし候もの有之上宿ニ而致候中勤メ
上宿いたし旅籠并酒食代残ル拂貰
又ハ不相渡取不致済ニ而も下宿いたし
及ハ相対酒食代銭拂置候迄 右体之
饗応いたし候も右代金銀錢与へ候者も
有之候ハヽ不届ニ付致し上申追放

戸川大学支配ニ付上宿駄ハ相学 道致候ハ
一件之内ハ上宿衆之手申付差し当別紙
之通相守組合江相渡し上相当之例
宿方ニ而も何と無致し之師追放ニ而下知
決之儀ハ篤と儀之婚姻并相互饗之
相心得候ニ而も言ハ之候家業ニ相可成
道人之相之相撲道具相撲之様ニ付候而御定ノ
高ニ而も会所ニ付相談之 罷出其ヘ八歩致シ事ニ

一 武成は道人として合ても下存し知文とも右
御定に河海の猟すへき事人分に住居すへし
此儀を存し又下人として不業の事に候はゝ可随
存しなから出仕の肥前守中上にて申付来合
許議仕下に上言之書に及ひ然は諸役人
此度御定書を道理として世法に以て
此和されは不法の後を存し御入念頭を
能々と此合申旨細同人合念下所に以て可相

此を見る者也其御下役被申付総頭御役参
代御掛共に又其下に知者して又不被
道理にも下存しとの御附酒食仲間
掛其外通候の事し宅代金銀諸出人
言不存も捨にしての事右法定人分に不
不定の外に能く道し役来も不相
其上度々合して不業の事に其住生帰り来
下存し罷帰に合して家業は其の取

無人ニ而新田持運ひ既ニ去ル戌年より
ニ御定之高ニ而雑穀ニ而去ル巳年
評議之上ニ而池田筑後守殿御無儀
治郎右衛門去閏八月一揆ニ付熟談合
太右衛門名主中より之段及ハ無之ニ付
金子借用下手人ため百姓共申付候へ
江戸表ニ而代金之内不足借用分相済候
是迄持分役所御尋被下候去月評儀

ニ付致し中ニ而右之段何れ引合
勝右衛門役所え被下申ニ而御礼被成候
評儀之無御座候
代之を懸候以上

別紙

川越右衛門
勝右衛門

右漁猟之儀ハ以前ゟ買入いたし来候ニ付
此度漁猟之儀以来猶世話いたし取計可申旨
被仰渡候ニ付、右前々ゟ請負候者共之儀ハ猶又金子
不相減様いたし候ハゝ右文中御取計被成候、白紙の
代銀金代銭掛并漁猟取扱候上ハ
いたし来代金銀共惣八郎人ゟ相渡候ニ付
漁人共ゟ私漁いたし候者共之取計不申候ニ付
同様ニ漁猟之儀以来猶世話いたし取計可申候

よろしく御定之上以来後々家業之者共へ
漁人共ゟ私漁いたし候者共之取計いたし候ニ付
難儀仕候間何卒御取計被成下度候

根岸肥前守

川[illegible]

[illegible]郎

右の仕置尚し候道人にこそ道徳を持まし
就中成共同様ニ頼み候ても下者の仕ると
其世右之法ニ准し何も致し候様進敵
言ても代々中ニ而下々ハ君へ対し道人之礼
雑ある持ましくも候ものハ仕置之節も可
有之御勝手ハ金之道徳を持ましくれ
其の方ニ而も右御定支大高ニも有之
右様成ハ此者ニ付候様ニ成ハ家文御勝手

候ハ能く入金子不足ニ付候得者ハ遠旅ニ於
茶酒食代銭等能く入ニ成掛り不申仍而宿ニ而
其器物中動ニ付道徳と名付候の
如しきと右代金諸事入用ニ存じ候得者捨るべきの所
一通りの道徳と名付候の文字を書掛り
世話致し礼銭等の世話ものとも不遠
下中代官を以尊し候道徳を持まし候を
しかものし御家大高とも難申ニ付

格例ともに有之候ハヽ別紙ニ而書付例も出差
以々存候間入合候而も何之無沙汰之
返被成候依之申上候以上 此段

例

牧野大隅守殿

麻布龍土町 家主
七番組人宿 年寄
名主 御年寄

杉本源郎
御差人

右ハ此方之成候去辰年十月中江府源八
方ニ而召出候者借方へ差出候ヘハ借代
銀ニ可被成今中御座候得共同之候而不御分

一 源八請負山手銀 銀合四拾七匁 儀ハ前々ゟ
去ル増賃代金ニ而六分取来リ年貢ニ四拾目文
借受申候 右月賦ニ金壱両弐分ツヽ残
年貢ニ而文程 此處文ゟ引須へ金ニ而拾弐
渡不申候ニ付 去ル安永二巳年九月 相手
関係も有之候ニ付 源八之儀 再三ニも及候へとも 埒明
返致

根岸肥前守殿
野州那須郡小木須村
百姓 源之丞

右之通り之儀請負人ゟ相願ニ付 去ル何々
御用不容易之儀者相成候儀議文之上ニ而
致へ無之候後文之通り相願人 并絶ニ而差
返之右銀無之ニ付 返へ之 被下度用

以後配分致候ニ付、右之通取計候旨寛政元
酉年十二月名前冊渡申候、依之肩書之通
上納仕候

徳田能登守殿
谷中感応寺門前
浅草山ノ宿町利兵衛店
大坂屋市兵衛店
同人親文

加役　方存

右之もの儀無宿七左衛門も不知其外之者
共申合金子并以前盗取候仕
猶又去戌以前貫文相易敷ニ付
徒用可致旨を設候旅宿へ申逢候様
ニ而無宿七左衛門諸女房諸候ニ付
可然ニ付中年頃貫目對談いたし度

一同人へ渡置候ハ、右金為取替し世話料取遣
ひ為致し金子并借受候を存なから訴ニ
相成候ハ、右為取替し候を存なから右之節ハ相手方ニ而
も不致礼金之内を受取候を致使用候
ニ付仲間ニ世話致し候不束之儀ニ付押込之
浪人ニ存世話いたし候同様之不届
ニ付寛政元年松平伊豆守殿へ伺之上
被仰渡候

右之品御沙汰候浪人へ之義取遣ひ
致し候もの御定之通ニ上ハ候返被
申渡候ニ付右ニ而ハ過料之仰付候の
被之上浮掛之品ニ付例ニ而ハ取扱相成右之
外書之中ニ而も借受候品ニ而ハ取扱世話
致し浮掛候ハ、貸金之内ニ而も世話料ハ
可請取ものニ付ハ、御定ニ而も不束之
通り可取扱ものニ付、右之外書御定之通り取計可被成

候ニ付存候ハヽ御奉行所江伺候上ニ而
一件之類ニ而見届候ニ付間違無之旨申上
可仕處其者へ右之通人ニ而相違無相
違ひ無之ニ付御尋之節右之通相違無御座旨
きゝ候之者へ全盗賊ニ而候ニ付右之通相違無之
盗之始末御申合之上ニ而披露人へ盗人へ
申付置候ニ付盗物相渡し候上ニ而
之ニ付而者右之趣ニ而相済申候

然ル処私義存寄之通申上候処追而御沙汰可有之旨
被仰渡候ニ付　右一件済迄不一方
心配仕候へ共難儀至極仕候

青山吾光寺門前　清兵衛店　喜兵衛義　当時
病死ニ付同人親類御吟味之節相違無之旨申上
右之者共結構之品盗物ニ而相渡候ニ付其
申候世話料銭六百文ツヽ為取替申候
寛政二戌年　名右丹後守殿御懸ニ而相済申候

初鹿野河内守江差越候上江戸掛中ニ

根岸肥前守

文化二丑年渡

御勘定奉行

松平主殿頭江相渡

一 信州浪人鹿島玄丹殺害ニ付出入初年

逸しらへニ一件

諏訪因幡守領分

信州諏訪郡東堀村

百姓

長左衛門

右之もの儀盗物と不存質ニ取置候外一人
まり家財之外金弐百文ツヽ貫借弐十貫代物
之代りニ取置又ハ弐拾貫文生胯候もしハ過料
為候ニ付不構
一 は渡之分質ニ取置候分盗物と
不存質置(?)家財之外 又ハ 貫文盗物
価代銭之代りニ取置候弐文生胯候者ハ
其のもの御定書ニ盗物と存候ハヽよ

致盗物と不存世話いたし既分ハ不及
其の致し御定之者有之寛政六寅年
池田筑後守懸 松屋町 源兵衛倅吉松
并南鍋町 与兵衛店 権兵衛事 介 吉松
此両人 盗物とも不存世話いたし候段不届
飛脚屋ニ而不念不届ニ付過料質入いたし
寺請人へ相渡し江戸払之上過料銭五貫文ツヽ
過料 申渡 過料 町内 過料 申付

致し之上不耕中ニ付而例之通御座候段

之上不耕

評議之通

文化四卯年伺候

火附盗賊改

一 荒尾但馬守伺

無宿平兵衛物干盗いたし候一件

小石川表町

清六郎店

源七

右之もの儀四ツ谷茶之間ニ有之候年前

候ニ付無據 先達而右補酒郎申付置候處
滴酒之節 近頃之者共江呼寄候趣承
候處 同人金子借受候而 手形相渡置候ニ付
如何御判書之通ニ而 同ニ茶ニ候 右織右衛門茶
代金も三両ニ而受取候 同人難申遣 右衛門江承
候へ共 其品ニ依而 不届ニ付 被
但 茶之儀 清兵衛江 引渡
付候 去ル辰年 拝借之儀ニ付 浦田

灘前之者 大阪道頓堀 右同所 重兵衛方ニ居候
酒 伊丹本町 亀屋清兵衛方ニ
長兵衛儀 右金子之内 拾金ヲ取 右両人江 渡
之不届ニ付 右之外 亀屋清兵衛 相
不申 又十口へ 申しく 平之方ニ書状
書之後 右代金之内 同人江 而分 亀屋清
ニ右衛門儀 市中ニ而 右織 金子 諸之通リ
不埒之所業之 右酒兵衛 金子 不上納

掛り出役仕候ニ付御差図ニ而両人ニ申合
有之儀ニ付上ニ而無之旨候得共同人申合
伺之無之候

伺済之通無之候

文化六巳年改
大御番頭
大林源左衛門殿
一 本郷五丁目ニ而定右衛門方江忍入候者有之候
一件

市ケ谷田町
家主清右衛門店
源之助

右之外之請人ニ者右之主人所為致候
欠落致候節者其品盗物とも不残相償へ
可申旨文言有之候共盗物之節ハ不受
取合候ニ付不及其沙汰右請人引請
主従之和熟不宜候ニ付其品無主右者
門前人ニ者不申付公儀へ対し右代金相
立候様一旦追立ニ付追而雑物召取
可申旨申付請書取来不及其金等之

跋

但手前ニ而出候節ハ
請状取請書ニ而又者切状奉公請
状奉行所へ取追以之中左之所ニ出
店子之類人ニ者無印共奉行共宅ニ
立置候内僧尼等取職過料ニ而
可為無之内欠落之節ハ償へ
ニ候右代金並取立候後欠落之

評議之通

久之丞儀ニ捕押候ニ付候と取り押出右
類ニ有自分ニ而難差御定書ニ而迚も
離而を取り差死罪ニ候又ハ礼金求
取り商人を頼候書請人之死罪ニ
有之はさらのを請人ニ成候右御定ニ
准し存命ニ候ハゝ死罪可相成所病死いたし
御仕置ニ至り候ニ付而ハ相成一件
よろしきの存候ニ下ヶ候

文化七午年渡

松平右京亮殿

大林伊右衛門

一 安右衛門義、初穂請取候一件

浅草寺境内

妙音院地借

清兵衛店

平兵衛方ニ居候

松五郎

右之もの儀ハ御本丸台所頭衆ゟ申付

不申まて者しく加州様御用達人ニ而大豆を掛

者取りハ其上武家中ニ而扱候右之代金之内札押

としし〳〵番操法者尼殿世話致し候ニ而御座有

設之由ニ而掛

ハ候御定書ニ違背ニ而不届候世話いたし

取いたしもの之設もかくし候もの之取者

居候中ニ而拾候札与世話致し上者取候

西丸も同様ニ付　寛政九巳年　仰渡之
写ニ差添　堀田摂津守　大隅治蔵殿
へ申ス　右同断一橋様　勤番之　沼野大五郎
右仕小普請入候並わくにて　金子
借受不申ためニ　家督　跡式　借入
去代金之儀ニ付　借受之分御返済之
以後不届之儀被下候処病死仕候後
返ヶ申上候之者一件之ニのたに

下申候得之御渡し不相成候ニ付申上候書面
右様之例も無之合ニ可被

仰渡も無之

文化九申年正月渡
浅草御蔵役
松浦大信伺
一上納度〻間所　度々御蔵え為差出候件

中山道板橋宿
百姓代伊左衛門店
清五郎蔵にて候
安五郎

右之もの儀度々持来り去ル頃迄不申出
置候も可有之候得共世話料呉候様申ニ付
申候処右世話料ニ付右差支ニ及
候由右始末不届ニ付申付
但し右之書付ヲ以御渡
此儀御定之書ニ随ひ給候世話いたし
現在を申立候の被成附札文之上
世話料下れ御座候差押へ候様

安永戌年　松平大和守殿御達之節付並
申付候ハヽ安房守家用状渡安房松平丹郎
縁組済候ニ付右家来不之仍之
弓手壱人掛を世話料　世話致候ニ付相
極大松平下野守ヘ同断ニ付越後水戸所
清水所方ニ於伏藤高人同之一任ニ付
縄同人売ニ付同国新発田町六郎兵衛ニ
家来壱人掛ニ而入候藤八代未

安房松平丹後守ニ而縁組ニ付家来抱入
之世話致候ニ付婚礼先勤取候ニ付
之儀申付候関係之合併無之段
但家来之御届申付候門候

縁組之無之

文化十一戌年出入

日光寺領村

一 江戸商人共塩売ニ付一件

松平右京亮領分
越後国蒲原郡寺泊村
百姓
彦兵衛

右之もの儀当節外ニ人と塩儀ニとも
不存塩捌ニ致し候処無之候ニ付ても差入
候ニ付右私共ニ而ハ候ニ付右仲間ニ而ハ江戸
表郷出之候文右之商人ニ而中ニ候ニ付而右塩之相
離候ニ付上ニ而ハ之新規相始来り差入ニ付しまき
御代官様取合七百文貫文宛新規ニ而御取締申
貫請方候ニ付右之料ニ貫文
出候儀ニ入候ニ付いつも塩捌之ハ不存

候ニ付後見ニ致し右私共何れ之儀ニ而
上ニ而添合右私共へ返済仕候ニ而も酒代
請負世話人相定一ト通り取引為致候而
何れニ而も私共世話人ニ而も御座候
持参之酒代并世話人江相渡候所私儀請
如何之請取遣候事相見候年来請取之
上ニ而右致候処米穀問屋喜兵衛方へ而致
勘定致候ニ而右同人儀浅草東仲町店借

店借り候儀請負ニ而私共八十八右衛門方
之者世話致候処右拾両貸渡候ニ付同人店
之儀も同人申立八ケ月店賃等相滞
候ニ付相調候処済兼候ニ付右私共より相付
金子遣候ニ付九月分八ヶ年分給金
之内右請負人共右私共酒代相渡し
是迄之事共右之済方右衛門江請負
相滞候ニ付右同人壱両借受候ニ付

此ニ差掛り候ハヽ銀ゝ無之段申候
存知ニ無御座候ニ付右之趣ニ而許容之
伺之通ニ申上候処其御用ニ付申合
御代官衆ゟ被
許状ニ無候

遺物之非存寄ニ而被頼

享和三亥年四月

甲府勤番支配附

一 甲府中古着屋清盗賊ニ逢候一件

甲府下連雀町
借家
古着屋清

右之もの借家商売等古着商売仕

可申出候得共右躰之儀ニ付何程茂成
去人へ相対ニ而質ニ取置申候質物之儀
不存候由申候　桶屋町大工清兵衛口上
ニ而名前不存候得共中ニ入候質入致
質物之儀不残申候質物取置申候
一　壱料之貫文
此代銭之儀書付ニ而候　桶屋町大工清兵衛
去人へ相対ニ而質ニ取置申候　同町大工清兵衛

右之者借主清兵衛へ質ニ取置申候八兵衛二
桶屋町質屋五兵衛方へ相対を以持参仕
大工清兵衛持参之質入致候右者
入置候右之者質屋ゟ相渡し被成候
去巳年質置候者質ニ取置申候
之料銭弐貫文ニ而質入之質札
不申候同質屋質入会所
清兵衛上壱挺と質置壱挺又ハ

不拘いかやうの者盗賊と不届ニ而
之外買取候ものゝ儀者是迄之通金銀可為
八分ニ借状請書等差出し上ケ無之実否
不分明ニ付もしかし候者参郷ニ而不分者
差免不相成候代銭を以差遣候者
一国之者ニ無之ニ付請候事

評議之通ニ

寛政三亥年申渡

甲府勤番支配江

一甲州川中清水村金之助初筆遣候様ニ而無之件

甲府柳町
質屋
安之清

右之もの儀質物高値仕候而取出帯

得と吟味之上證文取置可申候右之通ニ而
證人不承知金子借用候節ハ證人
而已相渡置候得共不埒有之證文取之不埒
大貫文
此段證文之方ニ取置候證文ニ而候
有之候乙年之内書付之者令甲府
町方借金之儀合有之證人借金も
同様之者仰之無之證文有之之義

證文貫文
評議之通

甲府下連雀町
借主
太郎兵衛

右之者之儀借金高壱両ニ付不相成候
得と吟味證文取之不申候而ハ不相成證人

不及紙利出申候ニ付、本人為判ニ而證文為
差入申候所、不行届所持仕候證文差上
過料證文之事
此度紙借用書之儀ニ付、本紙給
訳ニ付本人為判ヲ證文致候所、本紙給り
請取候ハヽ、借申候證文利足請取、本紙ニ付
有之、右為請取候ニ付、金子請取所持
之不存ニ付、證文ニ付、證文差上

不存候、年号巳年御法度書之内一人
為判之證文者、本人之外ニ印形之者
借用證文取置請取候ハヽ、不申借用證文利足
差上可申過料證文之事
評議之趣
但、給料銀之儀ニ付差遣候出候

甲府十一条町
銭屋
友七

右之もの儀銭両替渡世いたし罷出候処
清兵衛方ニ而質物ニ取置候知候ニ付重之
流人ニ相成候金子預り置候段一判之銭相
不届ニ付過料銭三貫文
過料三貫文

此段吟味書之通ニ付申渡候旨申渡
不埒ニ付急度叱り置候右之内猶以候
金子預り置不届ニ付吟味之上銭両替不念
之候ニ付前書友七ニ預置同様ニ付相当
銭両替之過料三貫文
但右之外吟味書之趣ニ而申渡候
不届之段不届ニ付吟味之上今以
不埒ニ付不被成候ニ付不届候ニ付相懸候

右文字有之候ニ付御糺之上相
願候ニ付右之願ハ不差出候ニ付差戻

伴紙ニ而無之

文化元子年四月渡
大隅守殿御渡
問合支之節伺
一 浅草新旅籠町弐丁目吉文字屋
一件

小日向東古川町
家主儀兵衛
忠兵衛

右之子細候得共在所不差置
有之候ハゝ不存候被入御吟味候
得共不差出家主五人組共
可為曲事不埒共不届候ハゝ
其之借代銀相渡揚屋入上ミ過料三貫文
公儀御法度書付ニ付右之五人組等補
五人組被入御吟味不届之所当申付
右之者共去ル巳年借候方不届ニ

借屋ニ相成候者在所書付差出来年
借屋差置候処人ニ相成候得者住右
ところ合仍之重借物手之借代銀
揚屋入上ミ過料三貫文

評議之通

文化元子年渡
大浦蔵殿
戸門太郎付
一 上州安石郷万郡和年追之上一件

南同胴町
参内店
借主
文吉

右之者の儀借ヽ持之手金子山内ゟ之道預之返
済之候候不預候とも安太郎住中方得と
出来不存候其氏人居内不成之利
借物ハ在証郷山之中本年不持ヶ年
借持此之證代金擔ヶ上ヶ拝之文
は不申候書之紙面之道蔵之助
は右補佐味之成山之不自郷へ之
之其内去年已年借ヶ方ハ不申

證拠ニ御座候ニ付而ハ書入置候中年
證拠等無之候ハ、自然ニ而ハ差出候節
之儀被仰付、百姓共ゟ入合候ニ付證文
可差出候代、帳面ニ而上之科銭ニ可申候

許状無之候

文化二丑年御渡
大済御役
戸門大学伺
一 野州小友村文太郎儀ニ付一件

野州梁田郡
小友村
百姓
留主居
政太郎

右之もの儀質物ニ而取来候ニ付質物ニ有之紙
ニ候得共不存候ハヽ長八郎并当人共
出入ニ付不存流人之者ニ而相渡シ質物
不念之至ニ付過料請取候間不将定質代
之利足之為過料三貫文
被仰付候者也右出入ニ付甲府
勤番支配右同所甲州[illegible]村質入之節
江戸右之者質物[illegible]

出入ニ付右ニ付質物取戻候下ニ而不念之至ニ成
流人之儀ニ而質物無之候而不
引渡不将定代銭為償之貫文過
料之右同様被右村ニ而同村組頭
請取候ニ付取調同村組頭方江相文質之
当人同人方ニ而相済候処江戸表
より代銭取立方へ二貫文成候ニ付力償
文不及之料銭三貫文之中上納

未済ニ付有之候人々服之一件も初年
文右衛門吟味書ニ候へ共此もの質ニ
取候品返ニ文右衛門請取候上
一件之内源右衛門儀ハ抜文質入いたし
今般同人ゟ取もとし候品之趣ニ付未済ニ付
引当金之取候抜主へ返し質代取上候ニ付
二百文之古物ニ付候源右衛門は左之通
抜之質ハ取戻ニ付候と源右衛門二人之質代

抜主之上質ニ而一件は相渡ニ而取返ニ
相手ニ二百文ニ付候ても支度之上抜金同様
ニ付質置候一御免候ても古状ニ而御
売古物商仕候之ニ抜之拾之台
可然ゟ何し無質代ニ付相応之料
銭之貫文
[illegible]
一

文化二丑年渡
證房町年行司

一　證判之儀長崎和蘭通詞之件

本多豊後守殿へ
東海屋彦右衛門
下傳馬町
總代
儀右

右之もの儀御奉行所ニて被仰渡候清人ニ
相成候ニ付長崎ゟ渡来文字ニ而證文之改ニ来ル和
御奉行女房せきさ絵羽織を持来り候所
頃ゟ中渡候ニ而證文相請申候由ニ付
候ニ付右之御奉行所ニ而證文之事ニて候段も
申しせきさ去年證文之事ニて候段上申候
候ニ付右之容易ニ難ニ相済所ニ付
證文ニ相成候方ニ付右之品ニ付まとう料ニ壱貫文

此證文去巳年借主方不如意ニ付質置
所預り致有之書入置候ニ付右
果不申之ニ付證文

詳細ニ無之

文化二丑年正月
此済返候段
戸門太子へ付
一 當村ニ而名保之者事初年無之ニ付

下谷同朋町
家主
借主
右衛門

一
右之外の質物ニ無之候ハヽ不届ニ付
有之候ハヽ不埒之至ニ付急度申付
質出候者ハ不及沙汰ニ候所持之
質取候者ハ質代金可取戻質物ハ
無之候ハヽ出入ニ付手鎖申付質代并
年之質代金損失ニ上過料三貫文
此度之吟味書ニ而吟味之上所払
及取候自分之分ニて候ハヽ自分之

雖之右乙年質取方不届ニ付質地
取置候ハヽ吟味書ニて見合可致之
質物取上ケ質代金損失上過料
諸三貫文
評義無之

文化二丑年渡
佐渡奉行伺
一 当時ニ而者吉之節盗いたし候件
佐州雑太郡相川
羽田町
荒太郎
卯四十
寺町同

小三郎
卯三十
右荒太郎儀去亥年中寺町徳蔵権三郎後
候与相談之上盗物之内相渡候而者不届之儀
候人江申遣し候又九小三郎儀右荒太郎六兵衛
方江罷越候而盗物候儀無之旨佐渡江罷出候者
雑物之内盗物ニ而相渡し申候不
取計候人江申遣し候ニ而其段一同不埒ニ付

茶碗壱つ　壹束七　使者持参之節ニ
被下之ニ付一料ニ壹貫文充　小者持参節ニ
六束壹へ　壹束節ニ　被下代銭ニ付壱料ニ
ニ壹貫文充
御所柿壱つ　右束ニ　壹束七　使者持参之節
ニ　右之通年々　書付ニ而今迄御座候
右之ニ料　銭ニ壹貫文充　小者持参節ニ
六束壹へ　壹束節ニ　被下候

候ニ付此度為見廻ニ付而者　元年壱尾年
拝領候へハ　小判　御返事　同日大坂
御城代ニ節　右同日新京屋敷
ニ而年始居候衆御意ニ而壱銭被下ニ付而至
迄ニ而扱候ニ付　御被下物ニ付　御座候ハ
被仰付候　若松伊勢守へも御返事
同様ニ　右追而　右同断ニ而御座候
ニ而和泉殿　御用ニ付而者　御座候ニ付

御免ニ無之候得共右宿為伝馬
者御定之御代官所村々ゟ之賃銭貫文ニ
未タ伺済之上伺無之事ニ而右之趣ニ
相願候ニ付各為伝馬宿々可申御代官所
ゟ差出之手間賃之義ニ及哉

伺之通可為無用

文化二丑年御渡
駿府町奉行伺
一 安倍郡今泉村 道心之儀ニ付一件

江川太郎左衛門御代官所
東海道
駿州安倍郡
宿村
質屋
江尻宿

右ニ付の儀渡世之者へ店賃部屋差置候得者
借人ニ相当候得共證文等ニ而者質入ニ而
事ニ付本紙之代金ニ而不相応高ニ而
以之外ニ本対ニ而借受物ニ而候得共
渡世之者へ店賃部屋ニ而差置候得者宅
一 平店借受候者ニ迷いわらく分勝手ニ
相識借受候ニ付而候而不相成之借受候之外方
不埒ニ付借受取之代料相成候上ニ料

之無之
地借借家之者方ニ而候者家主所方ニ賃屋入
維ニ而不相成居ニ而住居質差置候ニ付
右対ニ而不被借受候ニ而不相成ニ付
右之無年許渡ニ而何らん候ニ付地主所
其外右借ニ而家主ニ而大校ニ而借家所
借屋差居候之者相当様大家ニ候
人ニ右之證文ニ而差置候ニ而

東ニ而私御屋敷へ女房せゝき給服職ニ而
相集ニ付候ニ付申渡し無之候へ九
以前申立候処右ニ御屋敷ニ而ニ候へ
以て之分候ニ付会之せゝき丈半銭への
以て之分成ニ付上候ニ而役法来ハ容易ニ
難相用不届ニ候ニ付右筆ニ付右私共上
之科ニ無之文ニ付右同許候し上候し
無之中上ニ而無御座候所ニ而合候し無之

候ニ付九上代証相渡し上之科証
ニ無之文
但書状科書之内右紙以代ニ付不
右役高以ニ付而中文限ハ相済
下ケ渡

許取ニ無之ニ付

文化二丑年十月渡
大目付道成
荒尾但馬守伺

一 南伝馬町名主平吉道系加ゝり半ゝ之儀
一件

新右衛門町
伝兵衛店
借家
清右衛門

右之者の儀、借家ニ罷在候二付、道相ニ平吉
方へ相願、手形差出候処、律之事平吉
儀申立候得共、此方ニ而吟味之上、其段
不相成候之義ニ而、判之借家ニ而差出胆煎
之様罷在候ニ付、申聞、御免被仰付候、右之儀
ニ付、此方ニ而吟味被仰付、相違無之候
以後ニ而、借家ニ而、借地代金相成候
ニ付、過料 御免文

大蔵省へ　同年評議ニ付下ケ候安藝郡
見付大浜淀蔵役ニ而去月何日新右京
京町弐丁目浜平次店儀兵衛請人ニ成
儀兵衛取替金返済方相滞候ニ付其外之道知ニ
背キ私ニ取扱ニ而不都合ニ付若松信合
次ニ出訴不届ニ付其代返済方取計右金
ハヽ申上候和無振持参ハヽ
申上候差判儀兵衛取替金返済不調候

右ハ前條取扱ニ付儀兵衛代金利息返済之
上科料貴文ニ去ル何日評議之上伺之通
中上ニ而出訴例之合伺之通申上
儀兵衛方之儀兵衛代金持参之上右之科料
貴文

評議之通

文化三寅年御渡
大坂盗賊改
荒尾但馬守殿
一 金子百両盗取候一件

下総国香取郡
桜元門村
組頭百姓
長次郎

右之もの儀盗賊ニ而金子奪取之
者ニ而江戸表ニ而召捕候ニ付勘定奉行
依之御手当被申出候処尤右科之
盗賊ニ而是ニ付大原千万吉ニ而申
取ニ付同人儀蔵本村ニ而綿押盗賊之
儀及承知居右三人之もの共中候ニ付手之
手向ハ不申出候ニ付金子大原請取
内ニ付右品盗人ニ而候ニ付下り番右之もの

中伊勢町質代請負在来為請候段
不行届候ニ付以来右等不行届有質物為請
候ハヽ代金銀銭相当之上過料請
之書文
此儀安永四未年曲淵甲斐守町奉行
之節伺之上卯年申付源門萬治町
質屋源兵衛手代宣鳳請負申付
之相談質物相成候不取計候

常之中村方未熟之銭有之不請
質屋方之過料請之書文中村方之請
之ハ質代金宣利婦方ニ請負人
以前之合質物為請候ハ金銀銭
勤務町役人請為請過料
識之書文

評議之趣

一

文化四卯年御渡
甲府勤番支配江
一 商附合請負人江初筆差出し候一件
甲府下連雀町
質屋
太郎兵衛
右之もの儀質商売仕候ニ付質物出入候

節ハ右之質物可申處通帳無之
無印之質物無之候様ニ而御座候得共
質物致之下り申候文字之印之帳面へ記
焼印之印 焼印押し置候ニ付 書掛ケ價
前書之節質入いたし候ニ付代金之
之料 五貫文
此儀質屋分之者共之質屋渡世いたし候
右之通年々之御書付之合甲府町方質

居士総合　右之通江戸銅座ニ而相極候
古銅目方不残ニ而相改壱貫目ニ付
勝手焼失ニ付御買取ニ相成候上ハ
銅之儀ハ銀ニ而　代金相渡シ可申候
六貫文

浮織ニ無之候

文化五辰年正月
甲府勤番支配付
一　古銅之儀ハ是迄之代銭並ニ而相済可申候

中村八太夫支配所
甲州巨摩郡大師村
質屋
茂三郎

右之通質商売仕候者不相出候ハヽ
埒之上見質物相改其段御詮議
之上質物仕候者ニハ質物ハ取上候
為過料屋不残質物之代銀取上
之上ニ過料三貫文
一 質屋質物之方不念之質物取候ハヽ
其品者其上ニ書付之合 何之無
質物之上ニ過料三貫文

但盗賊之品御詮議之上ニ而新敷
不存候ゟ質物至失節方ニ質入致し候
質物ニ而も盗物出来候ハヽ右之代物
不相知之節不宜分ニ付其分不存
右之節之成質物之方不念ニ付而
其代物不相知候而 不念分 不相知者
出来候得共中上江御詮議之上ニ
可申渡

評議之通済

文化五辰年御渡

甲府勤番支配付

一　甲州上飯田村東之清治ゟ一件

甲府勤番
支配
茂之清

右ハ〻〻の儀然ル処高書仕立候不相成帋

得ハ未タ銀子取立不申ニ付右之段遣物之
所持者ゟ借手方人為相対銀子払
候儀ニ付又其之借主方ゟ遣物之買人へ返
借主之為其品ニ壱斤ニ付壱分宛所持者借方
借主方壱斤ニ付代銀為償買主之代銀拾匁
一 質物之儀ハ過料三貫文
一 此段盗物之品ニ而有之買取候不届ニ付有之
出候者其人ゟ相対ニ而質物取返候為差出候

不持之盗人ゟ質物又ハ不相応之借質屋
少之銀子有之候其上年又ハ書入之不届之
甲府町方質屋取立ニ組合有之江戸質屋
同様之質屋無之質物買取売壱貫掛り
一 代金壱借之取上ハ過料三貫文

評議之無據

文化六巳年御渡

大目付道成役
大林源右衛門伺

一本郷森福寺門前辰五郎初筆盗賊ニ付
一件

手鎖宿預ケ同
百姓方預ケ
卯太郎
卯吉

右之者盗賊質物ニ取置候品々盗物ニ
有之候処其段不存候得共寺内質屋
出所も不相糺請人ニ立置候而質物
取置候段一同不埒ニ付質物取上質代損
失ニ申付過料三貫文宛
申付候段組合江も不申聞候
書之内案書并本書於評定所
之質屋共之儀ニ付去巳年之御書付

右合伺之通借地之上借代相続
し上々料請之書文

評議之通済

文化六巳年正渡
大須賀殿
大森源五郎伺
一浅草西仲町忠八初年貢之ニ付件
浅草田原町弐丁目
蔵五郎店
借家 吉八
同人悴
安之助

右之もの共儀致召捕候ニ付吟味を遂
有之候ニ付右者不残御仕置申付候処悪心ニ付候ハヽ召捕
出来候節ハ其外欠落人ニ候共不及沙汰判之
御仕置申付候ニ付以後月数過候ハヽ赦免之上ニ而吟味可致
重キ者安永清院殿三十三回御忌ニ付一同赦
二月廿日八日ニ而御仕置ニ付ハ赦免ニ付赦
大赦之事安永清院殿三十三回忌ニ付一同八百人余
不及沙汰候ニ付同八百人ニ候

此度御免之儀ニ付上様一通
院殿安永清院御法事ニ付赦
之科申付候ニ付御赦免之者可有之候ハヽ初
吉八日ニ遣候ハヽ不存候共判之御仕置之者可持
有之候ハヽ其旨以前相改候共申付
右之通之科不埒之者有之候ハヽ安永清院
右之初之節ハ其外不存之者其外共御仕置
赦免之節ハ重科ニ付御仕置申付候共

主命流人ニ赦免有之候共不及沙汰事
雖申渡人ハ今迄之類ハ売掛候分流人之
跡遠島ニ付ては鉄売掛候分
之流人ニ准し可申付候上右之
不相叶者ハ不相拘以之儀可申出候
可相成ハ取上之品内を売掛同人
徒用ニ可いたし候流人之者諸入用
此類不届ニ付願成る遠島之不存

売払売掛候分ハ売代金ハ其品
代金を以売主之ものニ遣候迄
道人分相渡売払候ものニ可取立金ニ而
中ニ付ても相済候共其年償ひ候
方不及沙汰候儀其外ニ而済候諸書付
をも又合若ハ不相渡ニ付不及其
又売掛ニ而代金ハ主命之者ニ償候之
料物ハ不及上十ヶ月中ニ相済候ハヽ不相構候

御手 土屋丹後守様

伴紙之無候

文化六巳年正月

大目付江

大林弥右衛門伺

一 浅草寺境中 実金院境内 沢蔵 御朱

印之一件

浅草寺境中
実金院境内 ...
修堂

泰

右之者共儀当北月中質物ニ差置候所
御座候処者共相手取候ニ付吟味之儀
得申立候迚出所不相知と判候質物
差候之処右質入いたし候節も同様之
判し質物ニ差置候ニ付相済質物ニ差置
質代拾五両之上三科太貫文
吟味所吟味書之趣ニ有之一件之内相渡分
鼈甲銀簪弐本質代金弐分 同 櫛

并銀簪拾壱本質物ニ拾両弐分都合五両
質屋之ニ遣し候ニ有之 右鼈甲細工之儀ニ
櫛代百両位之所 并銀簪之儀も 右品
下直ニ付其上仕立不申候 町触ニ有之候へ共 前書
之通 拾両ニ質物ニ 拾弐両弐分ニ 質代金
差置候 質代ニ者 金子 大坂触を
忘却いたし候ニ付 不存候段 申上候
金子ハ此方 不届ニ存 有之候 大坂町触

之儀ニ付去巳年ゟ御書出之通入念伺
之趣御取計之儀代替無之候ニ付
浅之要文

評議之通済

文化七午年七月
火消御役
大林孫左馬伺
一元飯田町添地部屋初年拝借仕度之一件
外池左京守門前
家主
修覆
仁兵衛

右之外紙絹商ニ紙並ニ宗を拵候儀ハ
不之有之私共ハ不存候得共此紙者松五郎
仲間之者江も売出候ニ付紙商人(外ニ茂)而已
合候迄宗法ニ背紙並ニ宗拵売出候ニ付
一 宗紙商人共ニ紙並ニ宗拵不致候様申付候
紙代取立之上過料三貫文
寛政九巳年 諸紙ニ付申付候
神田花房町 大須賀屋長兵衛店 喜兵衛

麻布長坂町 紙屋五兵衛儀紙商ニ而並
此紙者外同事ニ有之私共ハ不存候得共
紙商仲間之者江も売出候ニ付紙問屋
松五郎外三名之者方 紙商人(外ニ茂)而已並宗
紙並ニ宗拵売出候以之外宗紙ニ相成
商人(外ニ茂)方江申聞紙並ニ宗拵売候由紙商人共ニ
過料銭五貫文ツゝ中ニ而無据候ニ付
其外紙商人共ニ過料銭五貫文

評議之無候

文化七午年發

大坂御蔵役
大林浜島附
一 金右入墨善次郎御米盗いたし候一件

深川元町
若清店
質屋
源七

右之品の流質物為請候節ハ金銀請取
持主等ゟ出入ニ及候ハヽ金子之方之申次第可致
右質物不足之分ハ不足之品ニ為請
未寄之方取主人与申判之質物ニ存無之候
不行届ニ付為請候質代定利其上ハ

一 横合ゟ之上過料之事
此流質物方不足之質物ゟ出入ニ及候
寛政九巳年ニ以書付ニ候金子為請候質

代ニ而為請候質物ニ而渡有之上ニ
質物ニ有之候而不及主人無判ニ而質物
為請候者ハ過料之事

評議之通

文化七午年留

火附盗賊改
大林弥左衛門伺

一牛込水道町織吉母たつ儀初発盗いたし候

一件

牛込改代町
家持後見
市右衛門
外壱人

右之もの申候質物之儀盗物之
有之候ニ付其段申付織吉請取申
候由ニ而不申尤右之品取上ケ候
得人共不申候ハヽ右判之もの判
質物之儀ニ付其段不届ニ付
質物之質代相渡し之品可申旨
申付候哉右之者共質物代ニ付
取合之儀申付候ニ付右之もの
申付候段不埒ニ付相当之御所

雑色共より御届申候所御聞届無之候ニ付
右科料三貫文宛
浮線被申付

文化八未年以後
淀府町奉行伺
一 無宿博奕渡世之者之儀ニ付一件
江川太郎左衛門支配所
東海道駿州島田宿
家持
伝兵衛
清太郎

右之通之段済方七條家志の借預金
済ニ清定八請人ゟ連印ニ而取替金請取
質物ニ入置し来ル元来不預候ニ付
右質物ニ差置候ハ預り候得共質置候品ニ付
志の方ゟ済居来ル右ニ付質ゟ請戻し候ハ
不済ニ付預り金出不申方不行届
不埒ニ付質物ニ而質代相済申ニ付
上置文

此段吟味書ニ録候得者質屋町年行司
出入者ニ而質屋ニ而年来相斗候
其上請人分差置年季差定連印ニ而取
差置質入之義ニ付請人差添ニ而当地
預り候質差方ニ而不念有之ニ付寛政九
巳年質差方不念之質置方ニ相成
有之書差入合同之質物差上
質代相渡し上ハ科料銭三貫文

伺候之通

文化九申年正渡

火附盗賊改

松浦大膳同

一無宿惣徳神筆盗いたし候一件

芝金杉裏三丁目

由兵衛持借家

久兵衛

右之もの儀無宿忠五郎与申合盗致

有之其上ニ候ハヽ不届ニ付此段去ル卯年中ゟ
得と出府も不致其儘迄ニ他人江相渡候ニ付
ニ而御定法を相守利足取置金ニ而候
趣ニ付而ハ不届ニ付證文預ケ置賃
一 代検見之上過料三貫文
此段宥免致し去ル未年證文預ケ置候ニ付預ケ金
承 并金之儀他人江相渡し候ニ付御取上
上同之通相渡ニ付書面之通同十二申年

同様ニ自分ニ致候ニ付申上ニ書付差上候
仲間定法有之候ニ付自分ニ差出
相違無之一割之證文取候ニ付同九
巳年證書差上候ニ付入合候證文差出
過料銭三貫文
御免之無沙汰

文化九申年　渡

出羽守殿被渡

松浦大隅守伺

一　武州中荒井村新田清[illegible]初穂出候儀不

[illegible]以[illegible]一件

寺田[illegible]町

[illegible]

長[illegible]

右之段候様掛ニ[illegible]有之

[illegible]細[illegible]候[illegible]不[illegible]新田清[illegible]

出[illegible]不[illegible]元五郎[illegible]宝法[illegible]

為人[illegible]不[illegible]合[illegible]候

掛ニ相違[illegible]渡[illegible]

御[illegible]年[illegible]和[illegible]候様[illegible]

[illegible]不持[illegible]

候代[illegible]科二貫文

此儀寛政九巳年評議之節ニ茂浅田
鐵蔵、大隅守殿御渡之節ニ而、麻布
長坂町家持傳兵衛、大工清次郎江家質ニ
差入置候借金、返済不致候ニ付、家質
調印仕候而出不申候ニ付取計
控等ニ而ハ何ニ而も相済申候、其上ニ而も不埒之儀
ニ而何事も無之ニ付取計相済候旨相届ケ候
手續書入、其方ニ而申立候得、不都合ニ付

質物之儀、質物代金銭借受候ニ付過料
銭三貫文ツヽ、其外評議之上、質物之儀
過料銭五貫文ツヽ申上候処、其後例之
見合為請取候ニ、質物代金之儀過料銭
五貫文

評議之通

文化十一戌年改
大坂御蔵役
松下河内守伺
一 飯倉新町五郎初年季遣しニ付一件

澁谷廣尾町
六之助店
質屋
勝之助

右之もの儀質物ニ而ハ後売掛いたし
質物ニ有之、候文ニ而取計いたし、五郎
得ト申合候処、出来不申、其儀定法
を以聞届、勝之助ニ付
質物ニ而売掛いたし不申、代売仕候
弐拾五貫文
此代錢九貫文九巳年ニ質置之合質物
并弐料錢六貫文十弐文ニ而右質物

月浚ニ去戌年ゟ来巳年迄壹掛ケ候付
同人所持ノ地面ヲ以テ来ル午年ゟ五ヶ年
長三郎ゟ壹掛ケ以テ家守ニ代銭ヲ壹貫文
右弥右衛門分壹掛ケ以テハ右代銭
同人ゟ為償ニ拝借銭大貫文
拝借ニ無之候

盗物とハ不存質ニ入置候ハ
質代銭ニ而同様元ゟ願

享和二戌年御渡

山田奉行伺

一 安斎左太郎盗いたし候一件

紀伊殿領分
勢州度会郡
粟野村
庄吉

右之もの儀左太郎と並盗致しも不届ニ付

済候得共不存ものゝ様ニ相聞候而も篤と
不承糺道抱ニ而質入いたし候を使候得共
其情ニ依候共不埒ニ付大質ニ振わけ下
質代銀質屋六分済ニ候
此儀以請書ニ而沢ニ而も 質屋六分済ニ候
公事方ニ而も盗物ニ而不知と紀人へ而し
候而も所当境質屋ニ而定法ニ付
当所ニ而も不念ニ而候ニ付被境質入候

方之候共同村之ものゝ内と綿村之
者ニ而ものも実も買元も存知候ハゝ
不及質入致候ハゝ佐渡候ニ付書ニ中上
證人へ而も質入致候ハゝとも 質屋へ不念
ニ候得共雅中にも右之年済候ニ付ても不念
山田村ニ而ても公事方にて質請證文而も
一件之候大同様之候ニ而 質屋ニ候ハゝ
少等而も勝利当名渡所方七毒

以之儀御座候ニ付不存候出所も
不相糺盗物ニ而可有之質ニ取置候段
不埒ニ付質代銀質屋ニ而償候上
過料三貫文ニ而相伺評儀之上過料ニ
不及質代銀償候中ニ上ニ而例ニ合
候ニ而過料無之質代銀質屋江相渡
可償

評議之通

右同断
同断
同村枝郷
松倉
善七

右之もの儀去ル寅年中盗織候ニ付不存
質ニ取身元も不存ものの紋木綿出[illegible]為[illegible]
不相糺盗物とも不存質ニ取酒代弐貫文

請取渡奉行 右酒代金之儀代金
銀壱七拾五匁ニ候
此段前書店舗同様之統奉行相違無
酒代金之銀代金銀壱七拾五匁ニ候

評議之通無構

享和三亥年此度
火消御役
大河内善兵衛組
一 神田上白壁町平之清孝子平之丞 初年
酒之の銀ヘいしニ付 拝

神田上白壁町
次郎兵衛店
二番組人宿
平之清孝子
平之丞

右之者共縁組人ハ以来者不及誓詞
有之候ニ付成下候処不残ハとも届仰付候
也而見不私縁組人ハ引取候後見清兵衛
右之者之候ニ付弓有之組及以下出来
幸助ニ及右後見御同人ニ而右之外任せ候
ニ付候並ニ後見者方不埒ニ付弓科ニ無文申付
出来候ニ付三十日手鎖
此度以來書之趣ニ而嘉組人宛平之清

病身ニ付家業向此ものゝ介請取兵衛
年之清ニ而も不申候證文ニ而差同人
名前ニ而とれ縁組人ニ付候差出方ニ而候
後見〳〵成候ニ付有之取扱候
幸助より同人迄も清ニいたし並ニ之儀
右ニ而無文字而不来候ニ付有之證文ニ付
不残縁組人ゟ差出候ニ付不埒ニ付
證文之者不残以取引相出而も不私

候ニ付無宿もの之儀科ニ付御定之通合
奉伺之通寅年二月十日申渡
伺済之趣

享和二戌年伺済
甲府勤番支配伺
一 無宿拾ひ金有之盗取候一件
御代官滝川小右衛門支配所
甲州八代郡唐柏村
無宿 幸吉
右之もの儀留守之節 [illegible]

画帳儀も所持いたし候ニ付速ニ取除候処
出来候儀ニ付而者兼而無之筋ニ而不宜
右之段等閑ニ致し候人ニ而無之候
不相済儀ニ付不行届不束之至ニ付
此儀不行届之儀ニ而右何分御沙汰
右之通ニ御座候

伺之通無構

享和三亥年四月
甲府勤番支配伺
一 無宿忠兵衛盗いたし候一件
甲府柳町
銀次郎
右之者儀盗物と不存質物取出
不束之儀無宿忠兵衛頼ニ付質入いたし候

以後不埒之科ニ可有之文中付ニ立諸
並ニ儀被仰付候
此儀御伺書之趣ニ而ハ右京大夫御預ケ人
以て申上候ニ付大和守殿御内小蒲善吉
何様之代儀ニ而難成不申候段三郎
一 蒲生善吉儀御預ケ人ニいたし候而善吉儀御座候中之方
ニ拘り候儀ニ付申上候通差置いたし候ニ付有之
儀様人之新善吉儀之通所定御座候

病死いたし候ニ付而不申出同人儀申之方ニ
跡ニ無之ニ付而伺之通御預ケ人ニいたし旦孫之進
一 右申上候儀右大和守儀同所
安兵衛ニ郡様引渡ニ可申又候大和守殿ニ
右儀ニ候又御渡同人ニ而不申候儀ハ右之
儀ニ立郡及近所孫之伝ニ並ニ候有之
定御座候右大用儀之いたし候儀尤之
し而様之儀候病死いたし候旨有之

若御用候ハヽ其趣委細入念早々可相達候
ヽ申付候而来迄之通委細ニ而相尋候
候様 出府不申候ハヽ私共へも申渡し
附置ニ入合相顕候ハヽ容易ニ相成候而
有之候得ハ及委細 委細ニ而承 致不申候
儀ハ無之様申付有之候間不申立候ハヽ可為神
御文書 文中ニ付而相改書并ニ書付申上候
無之節ハ無之候ハヽ早速相達可申旨被仰付候

何も無相違候

紛失無御座

享和三亥年御渡
日光奉行伺
一裏判之宿継之儀初年遣候一件
戸田能登守殿
御判継久留被成宿
西脇
吉七
右之ものの儀先達而宿継致候ものの儀
以之通相成し右判頭之者候ニ付宿継候ニ
右 [illegible] 之の節 [illegible] も不致
右之右判奉 [illegible] 候 不得 [illegible]
急度候
此段当五月伺候ニ付右被仰付甲府勤番
支配太田甲判小石和田村大弟右衛門居候
御役之継人ニ右之ニ付右 [illegible] 候ニ遣
[illegible] 之候ニ右 [illegible] 不届者

筈のことし此段承り候ニ付早速右絵図
等閑ニいたし置根戸組拝借無御座候
急ニ相急度此段支配拝借之儀
無之ニ付上ニ而無之表締ニ例も可有之合御無
急度此

拝借之[illegible]

享和三亥年四月
火消道具拝借
大河内豊前守伺
一 常陸国府表通和筆道之儀ニ付
野州河内郡雀宮宿
百姓
[illegible]屋
一 御蔵入

右之通の儀質へ入いたし置候年季明請戻
有之候年季明候共請戻候共右之通ニ相済候
出訴ニ及ひ候ハヽ去ル年迄ニ質地之分ハ取計
質置候之分ハ年季明候方江返し候様可申渡
質人年八拾年人ニ而質代金返済
之儀ハ証文書之通り右之通相済候
出訴之節ハ去ル年八拾人ニ而質地請戻し
金銀諸勘定無之金銀拾両九両

一
金子質へいたし置候共有之候ハヽ請戻し候
出入ニ付出訴ニ及ひ候質地之分ハ取計候之
之儀ニ付御定之通取計候ハヽ質地之分ハ質代
可渡之年季ニ而質入候ハヽ家質十ヶ年
無之ニ付質入候ハヽ請戻し可申渡
之儀ニ而書付ニ相済候金銀諸年八拾人ニ而
質代金返済
御證文無之

同郡宇和宮前大島町
百姓　平八

右之もの儀浪人ニ去ル質入之田地段々永代
證文并右之者ニ而前條之通江戸八
候中右差出不申右浪人ニ去ル
質入之田地取候不預質地之證文
方不申二付ニ而質代金銀並之江戸八

与八ニ之儀
此段不申書江戸八拝借之中右以書付
不及金銀之通質代金銀並之江戸八与八
之儀

拝借之通

享和三亥年十二月済
火附盗賊改
太田内蔵頭伺

一 遠州ニ而大林初年盗いたし候一件

浅草田原町三丁目
文蔵店
太郎吉

右之もの儀逃去り候無宿人足寄場いたし来候ハ

盗物ニ有之候儀ハ不存候得共無宿人
ニ而之外ニ右衆之もの見付出所も不相知
不申候而無之候間通ヶ所ニ而寄場之逃
人足寄場いたし去候不埒ニ付科之上文
化元子年佐渡ニ而少々ながら浅田
雅楽頭火附盗賊改之節右同所ニ而下総
国右之郡中村百姓弥市方へ無宿人
右之者所持之品盗候へ立入候ニ付

盗物ニ有之候ニ而茂不存候とも　質物
請人ニ立候者ハ先清右衛門ニ出候
右之質物返し候ニ而茂同人被下置候
渡世ニ候得共流人ニ不構質物ニ
置候段不届ニ付過料三貫文申付
右同断ニ付同人無之上ハ…
同無之過料三貫文
詳細ニ無之候

同町上田
若ヶ清店
吉四郎貸子
勝蔵

右之者儀質物之内ニ有之候盗物ニ
有之候ニ而茂不存候とも長兵衛方ニ保管
候茂不存先ニ清右衛門ニ成質入いたし
申渡不届ニ付過料三貫文中付申候

薬代之手当ニ而候

付候趣意とも不存候哉ニ出来不申

候ニ無之者ニ而も右之料ニ候處不念ニ而

之無之料様之義文中ニ付出来候筋之

之手当ニ而候

伺之通無構

享和三亥年四月

甲府勤番支配伺

一甲州八代郡中郡村金之丞初穂道具之儀

一件

甲府下一条町

甚蔵

右之者の儀道具ニ付不存之趣不届

出家ニも不似合儀人手ニ掛候ニも不申分
今宿中ニ候処根之無法ニ而形候処出居
不行届不埒ニ付過料三貫文
此儀去年評議之通ニ而以候喜兵衛
一 同人大概並組候以之節本所ニ鶴田
武千国伝三郎店甚太郎妻分之候処
従兄弟之ニも質屋へ差出し候道
右之者共不埒ニ付□□中ニ候

従出家も不似合之支配寺江引渡之上
其上も不届至極候主人へ差出し
質入之品預り候不埒ニ付過料三貫文之
右ニ付評議之上三十日押込之申渡上
右合同之通過料拾弐貫文

評議之通済

甲府上連雀町
菜助

右之通之後藤金之丞道意利息ヲ
貸入候ニ付 娘未々不存也御同人御中
振分致候者ニ付言之道意ハ不存
也如何ニ申方ニ不存仍金之丞御貸の
以之上ニ付斧次郎并ニ不届不得
手前之科ニ付文之上急度叱
被成金之丞分斧次郎共ニ并ニ申和
九月廿日書付ニ而金次郎申渡候

得と承候ニ付急度叱り置申付置候
但申渡致候者不届ニ付有之
右寛政年中評議之上申渡候 長谷川
平蔵殿御渡被成候 右同日申渡
武下月 源太郎 若年寄衆御渡之上申
致候ニ付 御貸の申渡候 若年寄衆へ申達
有之申ニ不存候 右御達之上
出来ニ付貸御渡人ニ申達

右者先達而見届候處此度閏月下旬致度
無之候ニ付右様取扱候而不都合ニ付
三科之書文を以右月評議之上伺之通
中宗例之見合ニて三科評議之書文

評議之通

文化元子年四月
出羽治蔵殿
同居友三郎付
一 宗名隆道初筆道之一件

浅草寺地中
安養院地借
喜兵衛店
十兵衛

右之とをりの儀役人ゟ被仰付候之為
致候処其段相分り不届ニ付
候得共役人ニ者立入候大事ニ付過料
出来ニ付其外御咎之段近来相伺可致候處
無之儀治定ニ付書面之申渡し中座ゟ御座候

一 廣来ニ而も御不埒ニ付過料三貫文
被仰付御座不存候ニ付 出来不及
其外候間左之通ニ候 御尋ニ付申合

伺之通過料三貫文

評議之通済

文化元子年四月
駿府町奉行
一 駿州安倍郡府中東町深彦様より申上候一件
駿府梅屋町
家持
弥兵衛
右之者儀去戌十二月廿日夜娘之儀
深夜分ニ而若者共被誘若者共之事
ニ付候処御ニ而被参候処其後ニ而
返候先ニ而内証ニ而被致候様申遣候処
にて相合候様相付候段相願候旨
償
此段駿府表御沙汰之候様被仰付候
并主之儀人々被申候段被仰付候事
今般御沙汰之上申上候様仰付候趣

質物ニ入置候之処右一件之節
差上候證文書并書付ニ而申上候先例
有之候文去ル酉年御吟味ニ付御尋被成候
被願有之候ニ付證文傳馬町抱右田店
願十成右等之分不殘質入ニ致相抱候
以来出不申候旨右之品ニ而相済候処
不申至之ニ有故質入ニ申候申上候
不埒ニ付質代銭并申文書有之候

方ニ而償之者ニ付詮議之上御無申上
出崩之分合御無質代銭質屋ニ償

詮議之上無御座候

右家主
東海屋権兵衛
下傳馬町
家持
傳七
一外
人

右之者共儀源七方ニ家業[illegible]
此者兄弟出奔不行届ニ付[illegible]
之源七[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

許容[illegible]

同町

家持
源七

右之者儀源七方ニ家業[illegible]
[illegible]兄弟出奔不行届ニ付[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

鍛代金御役所江願

御答無之済

文化元子年四月

大河道蔵殿

戸川大学殿

一 安右衛門清兵衛初筆道具一件

小田町東古川町
源兵衛店
藤右衛門

同所西古川町
久兵衛店
庄次郎

右之外ニ候質入いたし置候ものハ過料ニ
有之候所ニ候ハ不限年寄名主候ハ證判
組中より候ハ出金も不為九年之家主組
候ニ付若名主組中ニ證人ニ相立質入いたし
其段不届ニ付年寄名主ニ過料三貫文
庄屋名主ニ質屋太郎借質入元方不為済
以前質入代金請取
同候證文ニ不存質入迄もいたし候もの

御定之通證文ニ不存證人ニいたし候例
質之儀請候上證文ニ候不存候ニ付
以前證人ニ元金為償質物主ニ可返し
ニ付證文ニ付の江相渡中年ニ有之御定
因證物ニ不存迄も證人ニ候以上の
質代償方之儀ハ実銀ニ而質代年賦
ニ候はたて元金質代金請ニ過文
同ニ有候ニ付若名主ニ過料三貫文

店請印形代金返済

済候ニ而済

文化二丑年以後

北原沼蔵殿

戸川大学伺

一 鞘町壱丁目 金弐拾両ニ而一件

元数寄屋橋小町

家主 八兵衛 但人宿

後見 治郎兵衛 相届

去ル

右之もの儀質へいたし去ル子年より連々
不埒之私ニ候ニ付不届ニ付今年何年
猶又出所も不相糺品質ニ取候儀質へ取次候
前書之通過料三貫文申付出来兼候ニ付
三十日手鎖
此段質取之儀不存候得共出所も不相糺
質ニ取候もの之儀御定之通申付候人共
親身之者之儀ニ候もの過料三貫文相成ものハ

過料申付候処明和九辰年ニ而書
付候もの共へ申合同人無之過料銭三貫文申付
出来兼候ニ付三十日手鎖

評儀之通相済

右
[illegible]

右之もの儀通人之申付候ニ付同人儀
不埒之私ニ候ニ付不届ニ付質物取候

右之市兵衛儀も廉末ニ以テ外ニ御分ニ而合
不有之右不届ニ付證人市兵衛儀も五ケ所
右ハ中ゆかり候ニ付出府ニ而差紙を以て申渡
置之処其後ニ至而等閑ニ相成候ニ付過料
三貫文
出版元未年倍額ニ而御ケ所ニ池田
飛前右之出願差縫候も名前取付ニ不届之
中瀬村百姓孫右衛門證人ニ而右之

市兵衛儀も偽之申立ニ而不届之段至而不届
之事ニ候得共不埒之儀ニ付證人者
出入右不届之ニ付證人出府ニ而右之
證人差出候ニ付同人江相渡候文言ニ而
得申合證人市兵衛儀も廉末ニ以テ
此段不届之付過料三貫文ニ右之
三之掛合ニ中ニ而右之所ニ而例ニ而
合同之過料銭三貫文

評議之通済

文化二丑年済
大岡主膳殿
戸川大学付
一　那珂郡小友村文右衛門縊死いたし候一件

那珂郡深田組小友村
百姓
利松

右之もの儀質への[illegible]

以金子渡候由不存候得共文右衛門儀申立候
出訴も不致猶又其儀ニ付右之趣合ニ付
を以修理文右衛門へ申聞候処中儀之趣
其上候者不埒ニ付三科三貫文
過料三貫文申渡候ニ付甲府
勘定奉行御勘定甲府柳町銀右衛門儀
済方ニ付不存候得共出訴も不致
右之儀糺候処儀之申候

不埒ニ付三科三貫文申付候上其上ニ付
金子借掛候ニ付右訴候趣右銀右衛門
儀前借候主人ニ相尋候処定四郎病死
以之後致不申候同人方ニ
定四郎方ニ右形ニ而借返済
存済方ニ而不存一ト通り借ニ而
其上之者不届ニ付三科過料三貫文
申付之儀金子掛ニ而候

かとし、ニヶ年之表ニ而引合候ニ付合之上科
諸品無之
評議之通済

寛延二巳年伺
奈良奉行伺
一 安藤源兵衛倅非分ニ而女房を殺候一件
一 脇戸町無宿同町庄七借人ニ而源兵衛
荒物商売代銭去寅三月之候事
右之月三日夜五ツ時過相談之者共知以

ゟも訴出候ハヽ借物ニ立之
度七之請人ハ立候質代拂ニ付済方
済候ハヽ證文之本金済方ト請人ニ申付候
吟味書朱書之中上ヘ
此儀ニ而之請取金之請人ニハ不拘
吟味書朱書ニも右之趣ニ而度七八
請人ハ請負人之無之候得共右之人中ニも
并合候證文之済方候も不右之趣

朱書之中ニ有之候ニ付借主方ニ不済候ハヽ
无之候ハヽ右之類ニ付一ツ右借物之
證文ニ相見候而女房ニ差出候上町中諸方へ
右之儀ニ不及金之事ニ雖申可打
とも借金之金請方取可申付ハ不及
不残候ハヽ朱書之中より出金請候
元之田畑度七ハ買取ニ年過候ヘハ
証文之請人ヘ懸候ハヽ之質代拂借

方之儀評議之上質屋ニ而家蔵
質代銭ニ而当文迄ニ而諸人江償中
付而横中上存也去年以来合見文
林書之中上存也質代銭之内懸替
請取ニ而當文迄去之済方之償

評議之通

文化二丑年渡
付渡書付
一当時在宿去年町和泉屋之件
佐野雑太郎相門
大岡町
百助
左之者之儀途筋之不埒之儀出来

右出入ニ付世話いたし候者共ハ不届
ニ付取扱候者共も不埒之筋ニ付而は
同様いたし候者右之儀ニ付其科ニ無之
此度取扱候共右之趣ニ付而ハ同様いたし候ハヽ
右之者共内済取扱 證文出入ニ付右出入
一 貸金出入世話いたし候者共ハ右様ニ付
證文ヲ取右様之取扱 出入ハ右出入貸金之直
きこえ候者之科ニ 候共 御定之准

例之通之科料 過料ニ無之
併候之無
同所
下之所
市兵衛
右之者共證文ヲ取右様之出入ニ付不
右出入貸金出入世話いたし候 七ヶ年之間之取扱も

質ニ入置候ニ付、前々之通證文差出
申候處、右五郎兵衛手形相違無之候
書付ニ而相返候ニ付、一命ニも相拘り候
趣ニ而差押置、出入ニ付段々御吟味之
上、此度質入之處、自分ニ而質代銭相済
請取候、右五郎兵衛江相返し候上、右五郎兵衛ハ
右之者共ゟ手形差出、是又相済候ニ付
重而出入ニ付、此御方様ゟ相届

候ニ付、以後申分無之、質料之文
言、證文書替、出入方ニ而五郎兵衛此
此者ニ申し候上、手形差出候上、右之
之者共ゟ此御方様へ相済し、相断ニ
同日ニ付申し候、揚代ニ而右五郎兵衛ニ掛置
候ニ付、不相成候、為替質入之者共
候處、自分ニ而證文相返候
然上、不依何事、其節ニ可申出候、質入而違

さし加へ候ハヽ 御定之外ニ科料
之意文

評定所御渡

文化二丑年ニ渡
深房町年寄付
一 家主合之部 益ニいたし候件

河内屋吉五郎 代 吉兵衛
東海道 駿州興津宿
家持
藤兵衛
清太郎

右之もの儀今日部屋ニ而酒座
商賣いたし候ニ付右之もの共ゟ盗物とは不存候
いたし候上盗物女房共へ手放代金之
無之候得ハ質入いたし候とは見届候得共
其段不埒ニ付過料三貫文
一 此段吟味書ニ付右之女房共へ申付候
今日部屋分質入之段承引いたし始末ニ
不届候ニ付過料も不致者共へ候得共無

右之儀質之儀ニ付無之候得共御聞届之
御定書之通之もの共不届ニ付出帯
不及見質之無之ものの過料三貫文
又合何も過料銭三貫文

評議之通

文化二丑年御渡
勢州町奉行伺
一 勢州安濃郡長吉道連候一件

松平安芸守領分
勢州一志郡
大海村
勝太夫

右之もの儀留守中之節女房せき長吉と

家財質入いたし右彦市郎名前も不承質入
いたし候処右諸事始末海ニ而取り而
せき儀を長吉へ差出候ニ付長便和左衛門成
質物之儀質入ニ申受右取戻候ニ而料
之貫文
其儀ニ付質入いたし候ニ付左右之儀
済状書之儀ニ而女房せき成右衛門
右之もの儀其外之右質入へ

いよ〳〵後日ニ取ニ行候ニ至迄申遣候旨申遣

趣意も不存ニ付其出家不届之至

其外之者ニも御定ニ准し同罪之科

之無之

詳候無之

文化三寅年御渡

甲府勤番支配伺

一 甲州東光寺村修験淫いたし候一件

野田松三郎御代官所

甲州山梨郡東光寺村

嘉七

右之もの儀百姓ニて 女房并悴之義ニ

両様申分とも證文有之候得共済方ハ不遂
仲之儀方ハ別紙而相出来候ニ付吟味之上和
談之儀無相違證文差出候上者不埒
之者ニ過料三貫文
此儀無相違と存不届之有候出来候ニ付
證文差出し候ものゝ過料之御定之外同前
過料銭三貫文

仲儀ハ無之

同村　茂左衛門

右之ものゝ儀同村吉兵衛證人ニ相立
其申分有之候ニ付和談之儀取扱證文両様
其上ものゝ申分とも吉兵衛女房共申凡より
證文有之候得共其外ニハ吉兵衛申分ニ而和談之上候
旅之儀相違無之證人ニ相成候不埒ニ付
過料三貫文

此儀去ル寅年御儀ニ付、其後長谷川
平蔵大府若御役ニ而、右同所ニ而
綴町奉行所源右衛門店借ニ而組合
右之者共儀も入置候ニ付、右度右儀
以来者右様之者有之節ハ取計候ニ付而者
右之御帳面ニ出候もの共右之儀ニ付
然ル所儀人ニ右之ハ右衛門右之儀
然ル処ニハ同人より度々御仕置ニ被成下候

以来ハ此節不埒ニ付過料三貫文ニ而有之
御儀ニ而ハ同様之上ハ右之趣ニ而右御沙汰ハ御例之
五人組同様過料三貫文

御儀ニ無御座

文化三寅年御渡

大目付道中役
荒尾但馬守殿

一當時金座年寄溢并加へ申候一件

八丁堀水谷町壱丁目
次兵衛店
平右衛門方ニ同居いたし候
平次郎

右之もの儀質物請人ニ有之候処八百両を
貸し呉候処取請候質物請人ニ有之
候ニ付右金子之儀相済候得共出来不申候ハヽ不
届ニ候ハヽ以之外ニ付身分不相済候ニ付
御渡しも質物請人ニ而不埒ニ付
過料三貫文
此儀去ル寅年評議ニ而宜敷甲府
勤番支配より甲府元山町名主江候

済候右御支方百姓家業町方湯屋々
迄之者ニ不存罷在候茶丹湯之
儀ハ之節負服候而給ニ少々出来
不申儀ニ付差支候負服候而も服不行
届不宜与存ニ吉文三料とも付評儀
ニ之候ニ無之中ニ上之御本勝手例ニ
不合候ニ無之三料程ニ金文
評儀ニ無済

文化四卯年御渡
甲府勤番支配付
一当村百姓清左衛門送りし一件
所同松三郎 茂吉后
甲州山梨郡小松村
七右衛門
右之者之儀家数清右衛門ニ 遺恨有之分

致方彩三郎方へ申付候處右場所異儀ニ付
申もし候とも承知不致もの能役所ニ而申達
御出可申旨申渡候ニ付三郎方并ニ同人
取扱候者共候而不行届不念之至
此儀其人を召捕雑用為差遣候ニ付
ものとものし御定ニ准し相加へ候ニ付
一ものとものニ呼出ニ付差出候書付ニ而甲府
町勤番支配店五兵衛儀借家人ニ付

ともの手小松村七右衛門へ者質入ニ致
人ニ相立并所質地其方ヘ出ニ致候ニ至
可申旨申渡候所質地其所ニ異儀
無之儀ニ付可被仰付不念之至ニ付
相應ニ相待右一段申年評議ニ付
致候甲府勤番支配組頭甲府新者
在町住所者へ候質入之借人ニ相立
申候者其所可申渡旨之儀

様ニ候処右張紙之通認有之懐胎
人別之押用向ニ而取扱不致旨申渡
ニ付申渡候所取扱候旨此度右付評
議之上伺之通申上候処右躰之例ニ
見合伺之通急度叱ニ右衛門前書
七左衛門ハ村名主年寄共同組等金
判人之者出入候係右衛門合右同ニ而
同名之者判人之者雖攻旨

之段早々府勤書差配ハ見合承候変
金ニ同人ニ右之候得共清右衛門一件之
内々右衛門合之候得共内ニも報告差違
我取扱合ニ及候得共申候ニ付右衛門
清右衛門江候一件と右衛門江
いたし候一件ニ付判候由右衛門ニ付
右衛門吟味書之候一件清右衛門分
示談等候へ相候得共様候得共

有之候段右衛門を召捕候処有之候ニ付
清吉外一件ニ不拘候とも雅楽頭七左衛門
御呼出シ候分御吟味之上何れ之者ニ而も可申付
書一紙ニ米有無相違下ケ渡
七左衛門儀ハ追放被仰付候段雅楽頭へ申
被糺候処三郎右衛門申口相違因儀ニ而
申遣ス又右衛門儀ハ牢舎同人儀ハ
元締人ニ相違無之旨申候処

も不被相違候段青山不届ニ付差戻
也り
評議之通

文化五辰年済

日光御神領

一　安右衛門并源次郎初年季之者人ニ差出候一件

横川宗五郎知行
野州都賀郡大宮村
百姓
清右衛門

右之もの儀母病年〆并源次郎ハ安右衛門儀
ともに不存候処村役人共不申出当春方致
もとより治を出而も右両人江相渡候
村内母病ニ付当年より差出置候処
始末不行届ニ付質代金差出料ニ〆弐文
此儀宣政四年池田所治所持勤役
之部手治何ニ而治部村ニ市ケ谷取次
町市之衛店勤七段長右衛門方ニ

出候ニ付、所存ニ而も同人住居村役人組合之者
共相立会、手鎖之上旦那寺預ケ申付候而も宜敷
候へ共、右之通不埒ニ付、過料三貫文
申付候例も有之候ニ付、右之者ニ付村預
丹波守殿御下知ニ付、御聞済候へ共、右之者
一種之不届ニ付、不宜候間、過料ニ而
三貫文

伺之通申渡

文化五辰年御渡
甲府勤番支配伺
一 甲州上飯田村惣兵衛出入之一件
　　　　　郷田松之丞支配
　　　　甲州山梨郡上飯田村
　　　　　　　　　　　　与八
右之もの儀、御留場へ入候人ニ而、去巳年追々

不相出候ハヽ其者ゟ取候を可申付候
又ハ店請證人ニ申付申候但名主五人組不行
届ニ付不埒ニ付過料三貫文
此段者前年評議之節相極候甲府
勤番之者地面甲州上一条町江差遣候
一 店請人ニ申付ハ八郎右衛門店借主を以
抹殺之村方召捕候ニ付右不申付之
者又ハ不申付候其者又ハ請人ニ申付

質入ニ請人ニ申付候ハヽ不相出候者相渡
其外ゟ可申様ニ申付候得共出入相済質
請人ニ申付候得共不埒ニ付過料五貫文
ニ付何評議之上何も申付之其上
其例ニ任せ過料銭五貫文
評議之上相済

文化六巳年六月渡
火附盗賊改
大林弥左衛門へ渡
一本郷弐丁目定吉店仁兵衛方江忍入
盗取候一件

市ヶ谷田町弐丁目
藤兵衛店
伝次郎

右之もの儀市中所々ニ而文使致賃銭を取
其日稼候並者共ニ相成候ニ付不届ニ付
源八郎仲間ニ加り候処盗心ニ成市中所々
借家江忍入候儀ニ付不届ニ付
急度叱
右之者去ル丑年評定所ニ而申渡候依之
其外支配信州古川宿名主四千石
寡女ニ相成候者兄弟三郎ニ相成初而申渡候

其職ゟ為半十郎宿囲置候ニ付差出
之品も御座候得共此儀ハ半十郎中村
以連出不申候故所持之質入致候ニ付
仍而外ニ去年之利分共世話料銭貫文半十郎
江出し候由ニ付一旦当十郎へ入置候旨申候
者身分ニ付急度叱り置其上同許状之通
無之事を中ニ而仲間之内へ遣し候ニ付急度
叱り

許状之通無之

文化六巳年御渡
駿府町奉行伺
一 安倍川出水之節初筆遣いたし候一件
駿府研屋町
吉右衛門店
米七
右之者儀本郷江罷下茶縄へ遣
不足不存候処不出来来し事知らす候

来候節仕来辛未年ゟ之同町清助江文相談
談者無之常ハ文ニ質へ入いたし是迄候来不
行届不申候ニ而料談之貫文
之儀宮[illegible]及大廿年評議ニ付[illegible]致候
町奉行[illegible]駿府両替町之下同
差掛候儀仕形分質へ入銀[illegible]文銀
いたし候得出来[illegible]申知[illegible]儀
仕形候申[illegible]文相[illegible]札[illegible]致

四文ともに書ひきりに致不埒ニ付急度
叱ニ手付評議之上銀代拂高無之譬文
源右衛門方ニ為償之中より二十四匁差添作
則ニ而合銀代拂高無之市郎ニ而銀貫匁
源右衛門方江償

評議之上無済

田居
清助

右之品之段半七分本拂江戸茶湯人
之引替へ手形加入不罷出不届ニ付
其上段半七組取逆相之銀返そと申成
此段不埒ニ付銀ニ代銭壱貫五百文銀壱
源右衛門方ニ償
此儀既人相済銀へ壱源右衛門江とも申候
書之段ニ而彼境住来之不届ニ而
有之候ニ付右之物之半七組取出ニ而も不届

貸シ直シ候もの之身過料ニ而可済候処
出来不申旨ニ付貸直シ候もの之過料ニ申付
御定之通合過料銭三貫文
評議之通

文化七午年佐渡
佐渡奉行伺
一 佐州廉伏村乃心貫数道ニ而之一件
佐州相川小六町
日雇稼
伊代助
右之もの儀貫数を越給相越候之

之候、右躰之節、諸向ゟも申来候とも、其筋
役人之儀、掛ニ而ハ申候、役人之心得ニ而候
取計候ニ付、科ニ無之
付候得ハ、其儀書之旨ニ而ハ無数之儀役人之候
ニ而取扱、掛ニ而ハ其段申聞候ハゝ之
一 之候役所之儀とも有之候ニ付候得とも、其之無之ニ付
無之ニ付、科書ニ来、掛ニ而ハ役人之ニ
候、右躰ニ付候而、相場ニ付ニ付、右並

一 件之内ニ而ハ分限之儀候事

評議之無之所

文化七午年正月
小普請組支配
大林江戸守内
一柘植左京亮中間太兵衛紙筆盗いたし候
一件

牛込御納戸町
半七店
喜兵衛方ニ居候
万太郎

一右之者儀太兵衛主税迄持参文書付を
主税殿へ差出し候処、右品盗取候ニ付及
之事を承知いたし候処、出来不申候ニ付右太
兵衛儀へ申出、渡世いたし候処右様之所
為及候也
比儀去ル午年御下知ニ付候処、池田
飛騨守殿小普請組支配組頭下谷
長者町壱丁目吉兵衛店ニ罷在候

貸之内ニ而も売買又ハ質物ニ而御渡ニ相成候
有之私共儀も不存ニ付済出来候而も不
相成貸之内ニ而も売買ニ候而も不埒ニ付
急度吟味之上右銘々詳議之上銘々並ニ重キ
之無之相成候ハヽ御沙汰合銘々無之急度吟味

評議無之候

文化七午年出渡
火附盗賊改
大林源左衛門へ付
一元飯田町源兵衛店初筆拝借ニ而一件

牛込万昌院門前
忠右衛門店
清八
加判人

右之外之成義者相手方證文ニ而も
以来者拝借ニ而も以来ハ加判之文言有之候ハヽ
不存候とも印形致候上ハ印形方ニ弁金
為致候様ニ申付尤印形致候方ニ
申付不申候而金子之儀人ニ相立候とも不
一 存之者ニ候ハヽ年寄其外印形致候方ニ可申付候而ハ
能々成不致候尤五人組とも急度叱
右之成下印形家主五人組以来ハ無印不埒之旨

一 宝暦十三未年以書付申合候得共
五人組とも急度叱

評議之上

文化八未年出候
駿府町奉行伺
一 元名主姉之雑用過ニ付而一件

駿府
新通二丁目
〇〇持
結太郎

右之もの儀雑用仕表取候へ〔共〕てもれ

本繕儀貸金取立済方ニ而相成候不存
作よう 何之出不申 右取候へ〔共〕もれ残
八文貴人守取 右結之府取残申之候代
万円之節方ニ候
其儀彼地之儀を住居ニも有之候之府
右之儀年許候之宗〔門〕ニ而駿府町奉行
右行者東海道江戸表名〔主〕取之娘とのも右
甚太郎与申ニ付候出し分家〔縁〕組申来

質入いたし衣類取出し可遣旨申付
受取候段、済方不申上候ニ付、請人へも
相渡少々質へ入置候、質入いたし候ニ付
礼銭拾六文宛差出候、不残内へ受
請候礼銭并右質代銭質屋ゟ差
償之、右者評議之通ニ而、上ニ而
右済方ニ付請之外無礼銭并質代
方四三郎方ゟ償

一 評議之通

小節国三郎吉兵衛組
駿州安倍郡
松留村ト組
百姓
幸吉

右之者之儀、従恩召衣類質入いたし候ニ付
帳面消之ニ而、受取候衣類不残取出候

前之質入いたし置候礼銭百文宛請候之儀
雖思召候、有様ニ質札差渡、同人請出
候段も不存、兼而差上候段、前者礼銭
差上急度叱
付、礼銭雖思召より、有様ニ質札差渡、同人
請出候を不存、兼而差上候段も正路之由ニ付
返却と不存、質入いたし置、礼銭差出
請所候ニ付、不埒ニ付、急度叱
安永八申年

評議之上申渡候　後藤屋所手代　太兵衛
後藤四丁目家持　太兵衛店　同所次兵衛
借地人左衛門家来質入ニいたし候ニ付　同所
召　太兵衛店清七ニ相預ケ置候処　次右衛門
借　質入致候ニ付　方へ質入　西　清右衛門
太兵衛方ニ預ケ置　差戻　未二月九日　左門
家来十内　恵助方へ　木綿蒲団　板
質右衛門方ニ差出　次右衛門　候

一 質置候者方ゟ持来候質置主之者請
人ニ而質物ハ請取候後無證據候
質置主無之ニ付請人ニ而世中ニ居
方ゟ質物ハよし候得共取申候ハヽ無證
據ニ質置主ゟ不申付候而不届ニ候得
右本證文背候ハヽ無證據主人公郷ニ而申
如文質物を出不申候ハヽ質請人ニ而申立
候得不埒ニ而ニ而此儀右本證文背候

一 質代請償ハ申付候右ハ質置主
請候償申付質代無之候ハヽ三十日
限償方日限相済上ニ而科料三貫文
申付上ニ而右本證之例ニ申合候ハヽ
幸右置主を質物無之ニ付預り書之通
可申請人共質物取不届ニ候ハヽ返可申付
質代を請取候得共下手借用ハ不届
請取候質代償之雖有之候而も乱

差上申詫證文

詐欺之事

水野沖之介知行所
同国有渡郡上原村
百姓
三右衛門伜
政太郎

右之もの儀強圓悪心住去戌御番のよし文化

ニて懐へ入致し其上ニ而綿切鋏ニ而盗取候和
之段不存候とも取も出而も其品懐へ
ニて是を礼銭更ニ貰受候段不埒ニ付
礼銭并ニ懐代六百文方ニ償
此儀去巳年詐欺ニ而御布ニ成ニ強肩
町方御用ニ而府中町善右衛門店之七
條本綿ニ而綱ニ茶綿入を盗取之不存
候とも不出而来去九月中一度ニ盗去候

去ル卯年類焼ニ付同所清水町ニ而文助持家
志ゆ無六両文ニ質入いたし置候処其節取落
在り候ニ付三科ニ而五文を不相済候上
質代者無六両文質屋源吉方ニ償を
中古例ニ而合候ニ而通札様之上質代
六右衛門方ニ償

評議之通

同町
清水湊代官町
家持
和吉

右之もの儀波右衛門女房のよし弥取
少連質入いたし置候処切或ハ種恩益物者
波右衛門質入いたし候ニ付弥取又助いたし候ハ
不存のよし申出候ニ付其節済候出而先取

無之ニ付然のよし貸渡の儀難成段府
三拾三貫文
此儀去ル巳年評議之上下ケ札之通府
町東側ニ有之候ハ府研屋町若大黒屋
清助儀半七方本役所門戸茶店入ニ差
貸入ニ相成候ニ付不出来ニ相成下申之
候ニ付半七往来差置候無之ニ
右始末之儀地場之貸代銭壱貫文

貸屋源右衛門方ニ貸置候得共評議之上
三拾銭三貫文之下上候例ニ見合ニ
之通三拾銭三貫文

評議之通

文化八未年駿
駿府町奉行伺
一 家名半株譲いたし候一件
駿府
新通大工町
家持 忠蔵
右之もの儀半株経親類譲へいたし度旨
家督之道為ニ而受又ハ之識を不存候得
出而も不差免ニ付家督譲へいたしを扎裕
八拾文其節請候得不残府紀識来
譲代侍八郎方ニ債
仕候儀纸ニ成来候末有之候
以来書付差上申上候所前之二月
許候ニ而右入駿府町奉行相伺候
駿府新通四丁目家持佐太郎候證文

但去年紙質入いたし置候ニ付本紙之儀者質物ハ
質物ニ而受戻候ハ不所持候ニ付後出所
不礼紙質入いたし置右札銭八文貫替置候
不埒ニ付札銭并質代万留所ニ而
償ニ差出候并其上ニ付上ニ而
未済之儀ハ見合候ニ付札銭并質代
遣候ニ付償

一 評議之通相済

文化九申年六月
山田奉行伺
一 無尽質札盗取いたし候一件

紀州殿領分
宇治山田中之地蔵町
東良屋次兵衛下男
佐助

右之もの儀質物ニ而不存候ニ而質札

右引尻掛候分ハ此銀ニ而壱札銀貫
請取候而指引貫目文ハ札銀を以過料
銭三貫文
此儀明和六丑年　評儀之上取計候後長崎
下町大和屋儀兵衛　右同人ハ是迄長崎
長崎町壱丁目　甚七店　又四郎　候ニ付
久兵衛不相成し不埒ニ付申付置候
掛物壱ケ所　右之通申付壱ケ所候ニ付　過料

無盡ニ而中之事銀高相違之上右之前
同町門口町　源八店　長右衛門　無之ニ右彫
候段相違之事ニ付　右者居中ニ而之上
出候ニ札之源ニ而候　右　掛ケ付
過料之無之文ニ右ニ付評儀之上同無之
申上之無之　右源ハ例之通合同無之世貫
請取札銀高上之過料三貫文
評儀之通

同町　三五郎

右之者儀借地中右店を差配致
不届候ニ付篤と申付候処不相済相候之
ニ付貸銀書付ニ而も相済不埒ニ付貫
請取候貸銀無之過料銭三貫文
申付渡方ニ而不届候貸金ニ請人江相渡
貸代償方之儀寛政三亥年申付候

之貸代三貫文迄ニ而請人江償申付
金三ニ過料申付候様貸代之三貫文
以之ニ而請金ニ請人江申合請申付
過料ニ而不申付様之通承申合貸代
銀子取極候得共不埒之段吟味書ニ有之
以之ニ而無之書情ニ而貸銀取立過料
銭三貫文

御沙汰無之

同所　源助

右之もの儀酒狂之上不斗及口論候を
出所も不存久次郎相手取酒狂之余
償へし儀人ニ立入候而示談為償代銀
弐拾四匁宛償銀久次郎江償
被成下書付次郎江問屋関係之處合
銀子無之償代銀弐拾四匁ツゝ償銀

久次郎江償

併銀之通取

文化九申年[illegible]度
中川飛騨守殿
松浦大隅守伺

一武州中新井村新名主清和[illegible]
方[illegible]いたし候一件

高田[illegible]町
家主
勝[illegible]郎
外[illegible]人

右之者共儀名主跡役人[illegible]方へ
[illegible]和新名主清質入いたし候処右兵衛
[illegible]は婚来[illegible]右[illegible]兵衛
[illegible]来いたし候勝[illegible]郎[illegible]右衛
[illegible]之[illegible]申[illegible]方[illegible]
[illegible]新名主清[illegible]
[illegible]いたし[illegible]一同[illegible]
[illegible]

此段條書之通ニ付新見伊勢守
使を以中條様被遣長左衛門方江
従者ゟ申渡候處不存寄旨相答候
勝手向之趣返答長左衛門方右趣書取
申合新見伊勢守方江差出候處甚右衛門方江
承知之旨申越候付門へ可申談候是迄相成
以之旨甚右衛門方江門へ可申為承知候処
右左衛門方者有之候得共伊勢守江申来候

々度東之以之旨申来通り承知候處寛磨
十二月十二日右書付但書之通相済
一同承知候

伴頭承之

一 文化十酉年ニ渡
甲府勤番支配付
一 家質富右衛門いたし候一件

本石桐生町弐丁目
太兵衛店
長兵衛店
喜兵衛

右之もの儀家質證文借用不相済文ハ

貸之いたし候ニ付、不相済ニ付申し立人
並ニ判形借請貸之いたし候ニ而、右之候
實九ヶ所并ニ上四人之借
付候之人ハ之節ニ付借之家主大貸之段之
者共安永九子年牧野大隅守様
勤役之節御伺之上、御所中ニ付差門之代
寺門前町七右衛門店借七右衛門儀
之人ニ相尋、当納之節同店喜兵衛方ニ而

之儀ハ役中為御見出も不相成候而ハ清七
江取合も不相成候ニ付今般拙者儀
儀之内ニ而も不相続ニ付何卒今日
奉願候中ニ付例有之因而添書ヲ以テハ
代官之写ニ候而も一同御内々之儀ハ役所
不届之儀右ニ付 書面之通写候ニ
御新規之有之もの共へ被仰付候様奉願
不及写之ニ付候之儀何卒御免被下候上

其向常々宜敷取扱ニ相成候様御取計可被下
上候以上 年月日 何ノ何某

御役儀御免之所

右
表御役所ニ人長谷川
被仰付代勤
金蔵

右ニ付其之儀支配之者ニ奉願可申大事之

被成文長三両二歩之判借ニ差遣候得共
又候も不申少借ニ而候而不埒有
無御座候也
此儀安永九未年評議ニ而申渡候書留
彦十郎出府之儀被勤候ニ付本阿弥
三田寺町平兵衛店本阿弥清純名樹
来仕加筆左候而不届有之候ニ付
出府も不束之至ニ候咎申上又兵衛之間

極ニ而も無之申吉太夫方ヘ不届之至
折紙ニ而も請判ニ而出候切紙一張代の
之致候不埒ニ付代料ニ無之文ニ而有付
評議之上伺之通ニ而中上ニ而之通相済
例之通合令相済金子文長清兵衛
兼而之儀申聞追而不届之段可申付候
伺之通可被成候也

評議之通

右　大和屋借店　吉兵衛

右之もの儀、去ル寅年御帳面へ入り候
儀と存、不存始と出不申、不束之儀人別
帳面へ記し不申候段、不行届不念之段申
上候所、此儀御法書之段、長々之帳面へ
記し申候、萬端借人之者共へ申渡候

有之候年行事へ申付候
横田源左衛門　大須賀蔵役勤役之節
御用ニ付、青山東帳百姓共借家
人別帳面之年来仙台之遠方ニ
相成候儀人共ニも申聞候、此段申上候
ニ付候処、不申出候、右之儀ニ付
請判人ニも申渡候、一度
之義不届ニ付、当人之儀も申付候

右紀藩ゟ催促ニ付 右之通ニ而上京致
候事ニ付而ハ無據次第ニ付 右 科 殊
ニ無之文ニ者何卒評議之上急度叱ニ而申上
之無之者御沙汰ニ付 例之通令 伺之通急度叱

評議之通

国立公文書館
National Archives of Japan